

令和7年度 事業報告

自 令和 7年 4月 1日
至 令和 8年 3月 31日

令和8年3月31日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構

目 次

令和7年度事業の主な成果指標	・ ・ ・ ・ ・	P 1
令和7年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・	P 5
1 【知る】情報発信		
1 広報事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託、県補助、8市町負担金、財団自主》	P 5
2 【解く】相談・コンシェルジュ		
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 7
3 企業訪問事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 9
4 研究会推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 《事務局受託》	P 10
3 【興す】創業・新事業展開支援		
5 創業・新事業展開支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《財団自主》	P 13
4 【活かす】知財総合支援		
6 知的財産活用推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 17
7 はままつ知財研究会連携事業	・ ・ ・ ・ ・ 《事務局受託》	P 20
8 特許等出願支援補助事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 22
5 【学ぶ】人材育成支援		
9 製造中核人材育成事業	・ ・ ・ ・ ・ 《県補助、8市町負担金》	P 25
10 現場力向上人材育成事業	・ ・ ・ ・ ・ 《県補助、8市町負担金》	P 26
11 原価管理実践支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《県補助、8市町負担金》	P 27
12 多様な人材が活躍する職場環境づくり支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 28
13 はままつ丸ごとオープンファクトリー事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 29
14 インド人材獲得支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 31
6 【創る】新事業開発支援		
15 生産性向上等支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 33
16 中小企業脱炭素経営支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 36
17 事業継続力支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 38
18 新事業創出支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 39
19 新事業挑戦支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 42
20 浜松イノベーションリング事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 47
21 国内・国際標準化対策促進事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 48
22 新事業創出資金調達促進事業	・ ・ ・ ・ ・ 《財団自主》	P 49
23 競争的資金活用支援事業	・ 《県補助、8市町負担金、国補助、県補助》	P 50

24	はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	・ ・ ・ ・ ・ 《財団自主》	P 52
25	地域産業活性化支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《財団自主》	P 54
26	フォトンバレーセンター事業	・ ・ ・ ・ ・ 《県・8市町負担金、A-SAP》	P 55
27	次世代自動車センター事業	・ ・ 《県・市負担金、財団自主、会員会費》	P 68

7	【拓く】販路開拓支援
----------	-------------------

28	ものづくり販路開拓支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 81
29	マッチング支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《財団自主、県補助、8市町負担金》	P 86
30	デジタル化推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 88
31	海外ビジネス展開支援事業	・ ・ ・ ・ ・ 《市受託》	P 89

令和7年度事業の主な成果指標

◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
製品化・事業化件数	39件	37件	30件

◎事業別成果指標

1 広報事業・・・P5

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
ホームページアクセス件数	39,564件	35,149件	50,000件
メールマガジン配信登録件数	2,070件	1,668件	2,000件

2 相談事業・・・P7

(相談・・・P7)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
相談件数(経営・技術・知財総件数)	1,815件	1,686件	1,800件
経営相談件数	643件	628件	
技術相談件数	288件	156件	
知財相談件数	884件	902件	

(専門家派遣事業・・・P8)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
支援企業数	22社	23社	25社

(企業訪問事業・・・P9)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
訪問企業数 ※延べ件数	945件	956件	1,000件
新規訪問企業数	51社	36社	100社

3 創業・新事業展開事業・・・P13 ※はままつ起業家カフェ実績

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
創業相談件数	1,249件	1,283件	800件
創業者件数	80件	113件	50件

4 知的財産活用推進事業・・・P17

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
相談対応件数 ※	884件	829件	750件
新規相談対応件数	78社	91社	100社
企業訪問数	77件	39件	20件

※：静岡県発明協会の知財総合支援担当による相談件数を含む

5 特許等出願支援補助事業・・・P22

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
特許出願件数（国内）	9件	13件	10件

6 人材育成事業・・・P25

(製造中核人材育成事業・・・P25)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
「製造中核人材育成講座」受講者数	15名	15名	15名
「製造中核人材育成講座」受講者満足度	100%	100%	90%以上

(現場力向上人材育成事業・・・P26)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
現場改善実践支援企業数	3社	3社	4社
企業訪問数	6件	12件	20件

(原価管理実践支援事業・・・P27)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
原価管理実践支援数	2社	5社	4社
企業訪問件数	4件	23件	20件

(はままつオープンファクトリー事業・・・P29)

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
オープンファクトリー参画企業数	1社	11社	7社以上
学生とのマッチング企業数	1社	4社	4社以上

7 生産性向上等支援事業・・・P33

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	70件	50件	70件
生産性向上ツール導入企業数 ※デジタル・IoT・ロボット等導入	1社	4件	3社
技術連携マッチング件数	10件	8件	5件

8 中小企業脱炭素経営支援事業・・・P36

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
脱炭素の取組みに関する相談対応	37件	64件	100件
専門家派遣	10件	84件	40件

9 新事業創出支援事業・・・P39

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
参加企業	92件	116社	50社
伴走支援企業	16件	15社	15社

10 競争的資金活用支援事業・・・P50

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
研究開発型補助金申請件数※	3件	5件	3件

※：国等の研究開発関連補助金（Go-Tech 事業等）

11 ものづくり販路開拓支援事業（展示商談会出展補助金）・・・P81

項目		実績		指標
		令和6年度	令和7年度	令和7年度
国内	出展企業数	62社	71社	50社
	商談成立件数	47件	133件	50件
海外	出展企業数	14社	10社	20社
	商談成立件数	3件	5件	20件

12 マッチング支援事業・・・P86

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
マッチング件数	50件	33件	35件
マッチング商談成立件数	5件	1件	5件

13 デジタル化推進事業・・・P88

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
PR活動支援	1社	1社	5社

14 フォトンバレーセンター事業・・・P55

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
相談・対応件数	990件	876件	1,000件
地域企業の製品開発件数	5件	5件	5件
「光・電子技術活用補助金 ^{※1} 」採択件数	4件	3件	5件
A-SAP ^{※2} 申請件数	30件	26件	30件
A-SAP ^{※2} 採択件数	12件	12件	12件
技術ニーズマッチング社数	20社	29社	16社
商談成立件数	12件	16件	5件

※1：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※2：産学官金連携イノベーション推進事業

15 次世代自動車センター事業・・・P68

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
会員入会企業数	528社	516社	－社
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	244回	255回	240回
<内訳>			
・固有技術探索チャート現場指導	2回	7回	5回
・先行企業訪問調査	0回	0回	5回
・技術ニーズマッチング	6回	1回	5回
・試作部品製作委託現場指導	13回	18回	10回
・部品ベンチマークルーム等見学	124回	133回	180回
・サプライチェーン基盤強化現場指導	52回	59回	35回
・その他	47回	37回	－
秘密保持契約締結件数	25件	39件	20件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	3社	7社	5社
試作品製作委託契約件数	3件	2件	5件

令和7年度 事業報告

※金額は令和7年度決算額、〈〉内は財源

1【知る】情報発信

1 広報事業

決算額 1,892,054 円 〈浜松市受託〉

決算額 1,684,656 円 〈県補助・8市町負担金〉

【目的】

財団及び国、県、市等の中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに各種ツールで提供する。

【年度総括】

ホームページ及びメールマガジン、浜松商工会議所の広報媒体を活用して財団事業及び関係団体の支援情報を積極的に発信した。令和7年度も「支援施策ガイドブック」を発行し、企業訪問等の際に財団事業説明ツールとして活用した。また、浜松地域産業支援ネットワーク会議を開催し、各機関の支援施策や地域経済に関する情報の収集と連携強化に努めた。

今後も、各種支援施策が多くの企業に活用されるように、メディアを積極的に活用していく。また、財団や関係団体の支援情報等をわかりやすく発信しながら支援事例（支援施策活用事例）を収集し発信していく。

【実施内容】

(1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新の活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報等をホームページ（随時更新）やメールマガジンを通じて発信した。紙媒体ツールとして、支援施策ガイドブックなどを作成した。

ア メールマガジンの配信 〈広域事業〉

配信日：毎月第1・第3水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニュー、国等の統計情報など

イ 支援施策ガイドの発行

〈浜松版〉

発行日：令和7年4月

部 数：2,500部

規 格：A4サイズ、36頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

〈県西部広域版〉

発行日：令和7年4月

部 数：3,000部

規 格：A4サイズ、24頁

内 容：財団、経済産業省、県西部7市町など（浜松市除く）の支援施策及び成果事例

配 布：県西部市町の製造業者（547社）へ発送

ウ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載 (4月号)

発行日：令和7年4月1日(火)

部数：15,000部

規格：本文中ページ(表2対向)

内容：令和7年度の財団補助金(特許、展示会)等の紹介

エ メールマガジン配信システム改修

メルマガ配信システムを変更しセキュリティの強化を行った。また、従来、複数あったメール配信システムを1本化し、迅速で適切な情報提供に取り組んだ。

(2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

企業情報データベース(企業情報と当財団コーディネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース)の企業情報を基に、企業のニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などに努めた。

(3) 支援機関との情報共有

日本政策金融公庫浜松支店に財団の事業説明を行うとともに、浜松支店の取り引き先企業が抱える課題の共有を図り、後日、財団職員が相談対応を行った。

相談対応実施企業：3社

(4) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の7つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進する。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構中部本部浜松イノベーションキューブ、(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター(JETRO 浜松)

開催日：令和7年5月8日(木)、6月16日(月)、7月16日(水)、
9月8日(月)、10月9日(木)、11月12日(水)、
12月12日(金)

令和8年1月16日(金)、2月9日(月)、3月10日(火)

(5) メディア発信力強化プロジェクト

財団のプレスリリース力強化を目的に、マスメディアに対し財団や支援企業の取組みを紹介するプレスリリースを行い、うち15回が新聞に掲載された。

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
ホームページアクセス件数	39,564件	35,149件	50,000件
メールマガジン配信登録件数	2,070件	1,668件	2,000件

2【解く】相談・コンシェルジュ

2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 4,191,547 円 <浜松市受託>

【目的】

中小企業者や個人事業者などが抱える様々な問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、より専門的な相談に対しては、アドバイザーを派遣し課題解決に取り組むことで、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

【年度総括】

相談事業を通じて、地域企業の課題解決に努めた。賃金上昇や価格高騰、為替レートの変動などの影響が強く、収益力向上を図るための社内体制の改善に係る相談が多く、財団コーディネーターや必要に応じて専門家を派遣して対応した。引き続き相談対応企業への定期的訪問を実施し、進捗確認とともに潜在的な課題の掘り起こしとサポートを通じて、地域企業の持続的成長を促進した。

また、中小企業に対する相談対応等の充実・強化を図ることを目的とする浜松市 9 月補正予算「経営基盤・競争強化支援パッケージ」の一環として、財団コーディネーターが企業を訪問し、経営者や従業員と意見交換・企業内ワークショップを実施した。

単発的な相談対応やサービス提供にとどまらず、「包括的（総合的）」かつ「伴走（長期的に寄り添う）」により課題解決の支援を行った。

【実施内容】

様々な問題を抱える中小企業者等に対し、相談内容に応じてコーディネーターやアドバイザーを派遣し、課題解決や個別提案（マッチング等）を行った。さらに、地域企業の固有技術で対応できる大手企業等のニーズ案件を探索し、地域企業の販路開拓を支援した。また、明確な事業方針が定められていない中小企業に対し、経営ビジョンの作成を行う伴走型の事業方針作成支援を行った。

(1) 各種相談

・相談件数

項目	令和6年度*1	令和7年度*2	対前年比
相談件数（経営・技術・知財総件数）	1,815 件	1,686 件	92.9%
経営相談	643 件	628 件	97.7%
技術相談	288 件	156 件	54.2%
知財相談	884 件	902 件	102.0%

・主な活動内容件数

項目	令和6年度*1	令和7年度*2	対前年比
広報	72 件	119 件	165.3%
専門家派遣	179 件	139 件	77.7%
創業・起業	0 件	0 件	—
知的財産（特許・商標等）	817 件	753 件	92.2%
人材育成	46 件	134 件	291.3%
生産性向上・デジタル化	209 件	155 件	74.2%
研究開発・新事業展開	215 件	90 件	41.9%
競争的資金	26 件	19 件	73.1%
販路開拓	163 件	101 件	62.0%

(2) 専門家派遣事業

分野	令和6年度 ^{※1}		令和7年度 ^{※2}	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経営	16社	87回	14社	74回
技術	6社	28回	9社	51回
知財	0社	0回	0社	0回
合計	22社	115回	23社	125回

(3) 事業方針作成支援

財団技術コーディネーターを中心に、地域中小企業の技術の棚卸しから強みの把握等をサポートし、国の知的財産戦略本部の提唱する経営デザインシートを用いた事業方針策定の支援を行った。

実施期間：通年

実施内容：自社技術の棚卸し強みとなる技術の把握、生成AIを活用した経営デザインシートの作成、風土改革のための会社方向性の決定

伴走支援企業：5社：江間工業(株)、(株)ヤマト製作所、(株)高部鉄工所、
(株)モールド技研、ヨコスカ工業(有)

支援回数：35回

(4) 出張型経営支援ワークショップ

企業の悩み事等が明確でなく漠然と困っている場合に財団コーディネーター等が個社を訪問し、課題の洗いだしや解決方法等について複数の視点でワークショップを行った。

技術コーディネーターが金型設計製造業の社内風土改革を進めるため、同社経営者層とともに自社の経営ビジョン・行動指針(案)の検討を行った。

- ・実施期間：令和7年10月～令和8年3月
- ・実施内容：経営ビジョン・行動指針(案)の検討
- ・伴走支援企業：金型設計製造業
- ・支援回数：11回

また、知財コーディネーターと脱炭素経営支援員が企業を訪問し、各専門分野に関する意見交換を行った。企業からは、脱炭素経営について改めて担当社員も踏まえて深堀りを行うことになった。

- ・実施期間：令和8年3月
- ・訪問企業：搬送装置製造業、金属部品バリ取り加工業

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
支援企業数（専門家派遣事業）	22社	5社	25社

3 企業訪問事業

決算額 1,025,770 円 <浜松市受託>

【目的】

コーディネーター等を中心に浜松地域中小企業等への企業訪問を実施し、地域企業の実情を把握し、地域中小企業や個人事業者が抱える課題の把握と解決に取り組む。また、隠れた実力企業や新製品・新技術の情報収集を図り、地域産業の現状を見える化し、支援施策立案に繋げる。さらに、浜松商工会議所、浜松工業技術支援センター、浜松市とともに4団体合同で企業訪問を実施し、企業の課題や強み等をヒアリングし、各団体の特長を活かした支援につなげる。

【年度総括】

地域中小企業の状況把握、課題発掘を目的に企業訪問を実施し、延べ959件の企業訪問を実施した。原材料費やエネルギー価格の上昇に対する価格転嫁は一定程度進んでいるものの、依然としてコスト上昇に追いつかず厳しい状況が続いている。また、人手不足や人材獲得が困難な状況も依然として続いているほか、賃上げ分の価格転嫁も難航しており、企業の収益性を圧迫する要因にもなっている。このような状況の中で、令和7年度も企業訪問を通じて地域企業の状況把握に努めるとともに、他支援機関との連携した伴走支援や喫緊の課題に対する重要なテーマのセミナーの開催に注力した。

【実施内容】

企業訪問により、企業の課題を把握し解決に向けて支援するとともに、地域産業の現状を整理し、新たな施策立案につなげた。また、必要に応じて他の産業支援機関や金融機関等と情報を共有し、各社にあった支援メニューを提案した。

(1) 企業訪問 ※延べ件数

- ・企業訪問数：959件（浜松エリア 802件、広域エリア 157件）
- ・課題抽出数：54件
（経営基盤 31件、研究開発・技術 4件、事業化・製品化 2件、補助金 4件、販路開拓 7件、海外展開 3件、知的財産 3件）

(2) 4団体連携による企業キャラバン訪問

地域の産業支援を担う4団体（浜松商工会議所、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、浜松市、浜松地域イノベーション推進機構）は、CASE対応、環境変化対応、人手不足等の社会課題や地域企業の強み・弱み等の情報共有を図るため4団体連携で課題解決に向けて企業訪問を行った。訪問企業からは、特に人手不足や人材獲得、収益性の向上などの課題が多く、4団体で情報を共有するとともに、各団体支援メニューを提案した。うち、1社からは販路開拓について、試作品開発や交渉方法、展示会活用等の相談があり、4団体で共有するとともに伴走支援を行った。

- ・企業訪問数：5件

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
企業訪問件数 ※延べ件数	945件	959件	1,000件
新規企業訪問数	51社	36社	100社

4 研究会推進事業

決算額 一円 <事務局受託>
※研究会費の2割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各研究会の事務局として、総会や幹事会、講演会等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【年度総括】

各研究会においては、年度当初の事業計画に沿って、異業種交流や企業・大学などの連携事業等を実施した。引き続き、研究会事業を活性化させ、効果的かつ円滑に実施できるよう運営を支援した。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の7つの研究会において、当財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ (会員数：21社、賛助会員数：6社)

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会などを中心に活動を行った。

<総会>

- ・令和7年度総会 (4月8日)

<講演会>

- ・テーマ：国道16号線から学ぶまちづくり (4月8日)

<視察研修会>

- ・(株)ヤマハミュージッククラフト北海道 (北海道紋別郡遠軽町) ほか
(9月17日～19日)

<その他>

- ・情報交換会
(5月23日 浜松学院大学、令和8年3月17日 浜松ホトニクス株式会社)
- ・地域間交流会 (11月12日) 等

イ 浜松技術交流プラザ 82 (会員数：18社、賛助会員数：4社)

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会などを中心に活動を行った。

<総会>

- ・令和7年度総会 (4月22日)

<講演会>

- ・テーマ：「ものづくり屋として今が一番楽しい」 (4月22日)
- ・テーマ：「感性工学を活かした産学連携」 (11月4日)
- ・テーマ：「2026年の世界を俯瞰する」 (1月14日)

<視察研修会>

- ・学生との会員企業見学会 (テクニカルサポート(株)) (8月21日)
- ・視察研修会 (岡山・安田工業(株)) (11月14日～15日)
- ・学生との会員企業見学会 (ヒューモラボラトリー(株)) (2月16日)

<その他>

- ・ 関東経済産業局長との懇談会（9月18日）
- ・ 勉強会・関東経済産業局「2026年度中小企業支援施策について」
(12月9日)
- ・ 金沢工業大学との懇談会（2月12日）
- ※他研究会との合同開催

ウ 都田アソシエイツ（会員数：53社）

研究開発での産学官金連携を目的として、都田地域を中心としたものづくり企業の経営者や研究開発部門の管理者が参加し、講演会や視察研修会を中心に活動を行った。

<総会>

- ・ 令和7年度総会（7月8日）

<講演会>

- ・ テーマ：「2025年の世界を俯瞰する」（7月8日）
- ・ テーマ：「南海モルディの技術と経営」（11月19日）

<視察研修会>

- ・ 静岡理科大学・静岡キャンパス（M20）（静岡市）（7月30日）
- ・ 天竜エコテラス視察（10月3日）
- ・ アmano(株)細江事業所視察見学会（会員企業&学生）（2月20日）

<その他>

- ・ 協賛事業 都田文化力向上事業「オーケストラ鑑賞教室」（6月1日）
- ・ 小学生（熊小・上阿多古小・下阿多古小）のサーラ音楽ホールへの
リモート音楽教室&企業見学（システック）（11月19日）
- ・ 学生との交流事業（企業説明会&学生への講義 静岡理科大学）

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC研究委員会（会員数：12社）

ベンチャービジネス等の実態及び将来性についての研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会などを中心に活動を行った。

<総会>

- ・ 令和7年度総会（5月30日）

<講演会>

- ・ テーマ：「マクロ経済のお話 ～日本の経済の状況について～」（5月30日）
- ・ テーマ：「百年に一度の国際秩序の揺らぎ 中国と米日」（10月24日）
- ・ テーマ：「2026年 国際情勢・経済見通し」（3月6日）

<視察研修会>

- ・ 三重ナルミ（株）（1月29日～30日）

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：19社、賛助会員数：1社）

ものづくり企業の製造現場を対象としたソフトウェア産業に関する調査、研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会などを中心に活動を行った。

<総会>

- ・ 令和7年度総会（7月18日）

<講演会>

- ・ テーマ：「上場への道のりと今後の成長戦略について（株エコム）」（7月18日）

<視察研修会>

- ・(株)エコム (浜松市浜名区) (7月18日)
- ・台湾 (台北: 国立台北科技大学・ビジネスマッチング、
高雄: 公準精密工業、金属工業研究発展中心・見学他) (11月5日~8日)

ウ 先端精密技術研究会 (会員数: 法人 35 社、個人 17 名)

新しい精密技術に関して基礎となる新しい現象や学問、実際の応用例などを中心として情報交換を行い、関連分野の科学と技術の進歩に資することを目的とし、会員企業及び静岡大学や静岡理工科大学の教員が中心となって、講演会や視察研修会等の活動を行った。

<総会・幹事会>

- ・令和7年度総会 (6月10日)
- ・幹事会 (5月7日)
- ・代表幹事会 (令和8年2月24日)

<視察研修会>

- ・(株)新機械技研 (10月22日)
- ・トヨタバッテリー(株)新居工場 (11月28日)

<講演会>

- ・ロボットを”道具”として使いこなす技術と人材育成 (令和8年2月5日)

<講習会>

- ・自動車部品の高強度化技術開発と破壊解析の基礎 (12月4日)

<その他>

- ・学生と会員企業との座談会 (令和8年2月26日)

エ 次世代設計・製造構造研究会 (会員数: 法人 16 社、学校 2 校、個人 3 名)

製造業の経営層が次世代デジタル技術を社内に取り入れ、経営戦略に反映するとともに、設計から製造までのプロセスにおいて全体の最適化を図ることを目的に、最新技術に関する情報交換会(例会)と製品開発やAI活用をテーマとした意見交換を行う懇談会等の活動を行った。

<総 会>

- ・令和7年度総会 (5月12日)

<講演会>

- ・例会 (5月12日、8月4日、11月10日、1月13日、2月2日)

<その他>

- ・懇談会 (4月7日、7月3日、10月6日)

3【興す】創業・新事業展開支援

5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,788,100 円 <財団自主>

【目的】

浜松地域の主要産業であるものづくり産業はもとより、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

【年度総括】

浜松市、浜松商工会議所及び当財団が協同設置した「はままつ起業家カフェ」を中心に創業希望者等の支援を実施した。例年同様にスモールスタートが可能な個人のサービス業、小売業の創業が多くみられたほか、医療・福祉に関連する事業での創業が多くみられた。また、浜松市単独事業として、事業承継に関するアンケート調査を行い調査結果を踏まえ、事業承継アドバイザーが個別に企業訪問を行った。

【実施内容】

新たに起業を目指す個人等に対して、創業支援総合窓口「はままつ起業家カフェ」において、専門家による創業相談、啓発セミナーの開催、補助金・融資などの情報提供を行うなど、開業に向けた支援を実施した。また、開業後5年未満の事業者に対して、経営支援のためアフターフォローを実施した。

<はままつ起業家カフェ実績> ※令和8年3月31日時点

(1) 相談事業

- ・相談件数：1,283件（延べ数） ※令和6年度実績：1,249件
- ・新規創業者数：113名（男性66名、女性47名） ※令和6年度実績：80名
※製造業4名、農林漁業2、建設業9名、電気・ガス・熱供給・水道業2名、情報通信業5名、卸・小売業12名、金融・保険業1名、不動産業2名、サービス業53名、飲食業9名、教育・学習支援業3、医療・福祉業11名
- ・特定創業支援事業申請：132名 ※令和6年度実績：128名
- ・事業承継相談件数：26件 ※令和6年度実績：13件
事業承継に向けた取組実施中：1件

(2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算：800千円）

目的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：令和7年4月1日（火）～令和8年2月28日（土） ※随時

補助率：1/2以内

補助額：上限500千円

対象経費：補助事業のために使用される単価30万円以上の機械装置、工具器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など

※ものづくり創業支援補助金の利用はなかった。

イ 会社設立支援補助金（市予算：2,000千円）

目的：会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立する際に、

会社設立までに要する経費の一部を助成

受付期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火） ※随時

補助率：1/2以内

補助額：上限100千円

対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など

申請件数：16件

採択件数：16件

交付決定額：1,146,343円

交付確定額：1,146,343円

ウ ICT活用販路開拓事業費補助金（市予算：1,000千円）

目的：新規創業者を対象に、専門家のノウハウを取り入れたクオリティの高いネットショップ（ECサイト）の構築等、ホームページの新規作成又は大幅改修に係る経費の一部を助成

受付期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火） ※随時

補助率：1/2以内

補助額：①上限150千円（ECサイト含む）

②上限100千円（ECサイト含まない）

対象経費：新規で開設する自社ホームページ作成に係る外部委託費など

申請件数：5件

採択件数：5件

交付決定額：266,919円

交付確定額：266,919円

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：令和7年7月26日（土）

会場：FUSE イベントスペース

内容：①基調講演「セカンドライフ起業は、自分探しから始まる」

しるべオフィス（東京都世田谷区） 代表 昼田 純一 氏

②セカンドライフ起業体験者メッセージ

珈琲みい茶 伊藤 直也 氏

合同会社トト 前田 知恵美 氏

参加料：無料

参加者：31名（定員：40名）

(4) 起業サロン

開催日：令和7年5月28日（水）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

内容：「先輩起業家に聴こう！」

Sui Chan 川合 恭子 氏

GLOBAL LINK(同) 田畑 ダニエラ 氏

参加料：無料

参加者：7名（定員：10名）

開催日：令和8年1月28日（水）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

内容：「先輩起業家に聴こう！」

ガトーパティアン 鈴木 絵美子 氏
鷹影 谷田 知弘 氏

参加料：無料

参加者：11名（定員：10名）

(5) 起業実践サロン（全5回＋個別相談2回）

開催日：令和7年7月23日（水）～9月17日（水）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

内容：「ビジネスプラン作成講座」

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 荒井 豊 氏

受講料：無料

参加者：9名

起業実践サロン（全9回）

開催日：令和7年6月28日（土）～8月30日（土）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室 ほか

内容：「ビジネスプラン作成講座 ～まち×起業～」

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 杉本 光生 氏

㈱リージョン・スタディーズ（浜松市中央区）

代表取締役 白坂 隆之介 氏

受講料：無料

参加者：5名（定員：10名）

起業実践サロン（全8回）

開催日：令和7年10月11日（土）～12月12日（金）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室 ほか

内容：「ビジネスプラン作成講座 ～まち×起業～」

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 杉本 光生 氏

㈱リージョン・スタディーズ（浜松市中央区）

代表取締役 白坂 隆之介 氏

㈱浜松家守舎キュウ（浜松市中央区）代表取締役 柳本 茉希 氏

受講料：無料

参加者：10名（定員：10名）

起業実践サロン（全5回）

開催日：令和8年1月16日（金）～3月6日（金）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室 ほか

内容：「ビジネスプラン作成講座 ～まち×起業～」

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 大橋 昌弘 氏

受講料：無料

参加者：9名（定員：10名）

(6) 起業家カフェ10周年記念セミナー・交流会

開催日：令和7年7月12日（土）

会場：グランドホテル浜松

内容：①パネルディスカッション

ジングレイス㈱ 代表取締役 川合 善仁 氏

A.L.C 小楠 智彦 氏

②先輩起業家の体験談とメッセージ

グローバルビジネスアカデミー 村上 元男 氏

参加料：無料 ※交流会参加者は 1,000 円

参加者：100 名（定員：100 名）

(7) 特別講座

開催日：令和 8 年 2 月 14 日（土）

会 場：浜松商工会議所会館 4 階 B 会議室

内 容：「浜松の地域資源を生かす産地発ブランドの起業」

（株）HUIS 代表取締役 松下 昌樹 氏

参加料：無料 ※交流会参加者は 1,000 円

参加者：22 名（定員：50 名）

開催日：令和 8 年 3 月 18 日（水）

会 場：浜松労政会館 第 4 会議室

内 容：「創業者・小規模事業者向け補助金セミナー」

はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士） 乗松 寿 氏

参加料：無料 ※交流会参加者は 1,000 円

参加者：22 名（定員：30 名）

(7) 創業型事業承継支援「ツグはまコンシェルジュ」

事業承継による創業希望者を支援し、後継者不在企業との初歩的なマッチング支援を実施することで、創業型事業承継を推進した。

<創業型事業承継支援 WEB サイト「ツグはまコンシェルジュ」>

登録者：創業希望 31 名、後継者不在 7 名

マッチング面談：3 件（後継者不在企業×創業希望者）

(8) 【参考】浜松市事業承継実態調査結果抜粋

調査期間：令和 7 年 6 月 27 日（金）～8 月 11 日（金）

調査対象：浜松市奈に本社を有する代表年齢が 50 歳以上の中小企業

調査対象者数：3,971 事業所

有効回答数：1,534 人 うち製造業 305 人

事業承継に対する考え：「事業承継に既に取り組んでいる 36.2%」「事業承継に今後取り組もうと考えている 22.8%」「まだ考えていない 20.9%」「廃業したい 12.0%」「年齢が若く先の話である 2.8%」「事業の売却を検討したい 1.9%」「その他 3.8%」

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度
創業相談件数	1,249 件	1,283 件	800 件
創業者件数	80 件	113 件	50 件

4【活かす】知財総合支援

6 知的財産活用推進事業

決算額 2,500,021 円 <浜松市受託>

【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権の重要性は高まっていることから、知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するために、特許、商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談の支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援、地域の知財活用状況の調査を行う。

【年度総括】

本事業では、地域中小企業の知財活動に関して、個別企業の相談対応や知財活用の啓発セミナーの開催などに加え、令和7年度は、初めて地域の大学と連携してデザイン学部の学生向けに出前知財講座を実施した。また、自社製品開発を進める企業へは、産業財産権、営業秘密、契約等のアドバイスを行うなど、企業の状況に応じた集中支援を行った。さらに、意匠及び商標の出願動向調査とヘルスケア・福祉向け生活支援技術に関する調査を行い、調査結果は、今後の事業展開に役立てるとともに、当財団の支援施策の参考とする。引き続き、個別企業の課題に対応しつつ、当地域における知的財産経営を推進していく。

【実施内容】

(1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化を図るため、知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）が連携し、必要に応じて特許庁の専門家派遣制度（弁理士・弁護士やデザイン、ブランドの専門家を派遣）を活用し対応した。

(2) 知財講演会・講習会の開催

知的財産に関する専門的な知識や実務経験の少ない地域企業等の若手スタッフ等を対象とした講演会や講習会等を開催した。

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会

① 講演会（知財経営・知財戦略）

中小企業の企業価値を高める！！ブランド価値向上セミナー
開催日：令和7年11月26日（水）
会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター 44 会議室
講 師：AIGI グループ あいぎ特許事務所
弁理士・中小企業診断士 廣田 美穂 氏
内 容：BtoB 企業のブランド活用
新規事業開発におけるブランド価値
参加者：24 社 27 名（定員：30 名）

② 講演会（事業活動）

中小製造業のための秘密情報管理と NDA の実務セミナー
開催日：令和8年3月5日（木）
会 場：オンライン
講 師：さくら国際特許法律事務所 弁理士 森岡 智昭 氏

内 容：企業における秘密情報管理
 秘密保持契約（NDA）のポイント
 参加者：23社30名（定員：30名）

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会

- ・初心者向け知財基礎講習会（全7回）
 開催日：①令和7年6月27日（金）～令和8年1月30日（金）
 ②令和7年7月2日（水）～令和8年2月4日（水）
 講 師：知財コーディネーター 石井 勉
 後 援：はままつ知財研究会
 参加者：14社25名（定員：15名）

開催日		内 容
第1回	①6月27日（金） ②7月2日（水）	(1) 知的財産権制度の概要 (2) 特許制度と特許法の概要①
第2回	①7月24日（木） ②8月6日（水）	(3) 特許制度と特許法の概要② (4) 実用新案制度の概要 (5) 特許権の事例紹介
第3回	①8月28日（木） ②9月3日（水）	(6) 特許権の権利範囲と権利解釈 (7) 特許権の利用関係
第4回	①9月26日（金） ②10月1日（水）	(8) 特許情報の活用 (9) 意匠制度の概要 (10) 商標制度の概要、ブランド化の取り組み
第5回	①10月31日（金） ②11月5日（水）	(11) 著作権制度の概要 (12) 不正競争防止法の概要 (13) 知的財産関連契約
第6回	①11月28日（金） ②12月3日（水）	(14) 企業活動と知的財産権について①
第7回	①1月30日（金） ②2月4日（水）	(15) 企業活動と知的財産権について② (16) まとめ
特別編①	12月17日（水）	特許等検索講座（J-PlatPat 講座）
特別編②	2月27日（金）	今だから話せるここだけの裏話 参加者意見交換

ウ 出前知財講習会

- ・知財講習会（大学）
 開催日：令和7年5月14日（水）、5月21日（水）
 会 場：静岡文化芸術大学
 対象者：デザイン学部1年生
 内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に関係する知的財産権について
 講 師：知財コーディネーター 石井 勉
 参加者：136名（生徒：132名、教員：4名）
- ・知財講習会（高校）
 開催日：令和7年9月16日（火）
 会 場：静岡県立浜松工業高等学校
 対象者：デザイン科1年生
 内 容：具体的事例に基づくデザイン活動に関係する知的財産権について

講師：知財コーディネーター 石井 勉
参加者：44名（生徒：41名、教員：3名）

・知財講習会（企業）

開催日：令和7年10月14日（火）
会場：樹脂成型企業
対象者：技術者等
内容：J-PlatPatを用いた特許調査実演講習
講師：知財コーディネーター 石井 勉、堀江 孝司
参加者：9名

(3) 地域モデル企業の育成支援

会社の強みとなる知的財産を認識し、保護・活用する中小企業を知財経営のモデル企業として育成・支援し、その取り組みを地域に広げる。具体的には、モデル企業を訪問しヒアリングしたうえで、知財経営の内容を整理し、取り組み強化のための支援を行った。

具体的には、自社製品開発を進める2社に対して継続的にヒアリングを行い、開発段階に応じたアドバイス、社内教育等について支援を行った。

支援事例

- ・樹脂部品製造業：自社の知財活動ロードマップに基づき出願戦略や知財経営を推進
- ・搬送装置製造業：知財経営及び契約等の事業活動を推進

(4) 知財情報調査活用

地域中小企業の知財活動や知財経営、新事業展開を促進するため特許等の出願状況や直近の経済事情に応じた技術テーマなど知財に関するトレンド等を調査した。調査結果は地域中小企業の新事業展開に役立てつため、財団ホームページに公開した。

令和7年度調査テーマ

ア 地域の知財活用状況調査

<調査対象>

権利の種類：意匠及び商標

対象出願人：中小企業等

出願人住所：浜松市

対象期間：過去20年間（2005年1月1日～2024年12月31日の出願）

調査内容：意匠及び商標の年次別、分類別出願動向

調査結果：浜松地域の中小企業による意匠・商標出願は増加傾向にある。意匠出願、輸送用機器や電気電子器具等の部品の出願が多く、低コストな権利取得を活かした模倣品排除や独自性の訴求等が有効である。商標出願では、リスク回避やブランド構築への意識が高まっており、独自技術に命名してPRする「技術のブランド化」への取り組みが期待される。

イ 特定の経済・技術テーマに対する出願状況調査

<調査対象>

権利の種類：特許及び実用新案

対象出願人：すべて

出願人住所：すべて

対象期間 : 過去 20 年間 (2005 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の出願)
 調査内容 : 「ヘルスケア・福祉向け生活支援技術」に関する出願動向
 調査結果 : 当該分野における出願は 2010 年代に増加した後、2020 年代にはやや減少傾向にあり、技術テーマの選別が進んでいる。出願内容は機械的、直接的支援から自動化・制御等に関する技術にテーマがシフトしている。
 浜松市関連の出願では、移動・移乗支援など具体的な介助場面に対応した実用性の高い技術に関する出願に特徴がある。

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度
①相談対応件数		884 件	829 件	750 件
②新規相談対応件数		78 件	91 件	100 件
③企業訪問件数		77 件	39 件	20 件
④出願支援件数	特許	5 件	4 件	/
	実用新案	1 件	2 件	
	意匠	10 件	0 件	
	商標	46 件	38 件	
⑤出張知財講習会開催回数		2 回	3 回	1 回
⑥新規モデル企業件数		2 件	1 件	1 件

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む
 ※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

【利用者の声】

「秘密情報の管理について、自社での取り組みに何が足りないか知ることができた。客先、仕入れ先等と機密保持契約を結ぶ機会も多いため、今回の内容を参考する。」(中小企業のための秘密情報管理と NDA の実務セミナー) <マーケティングペン先製造>
 「ブランディングの有効性を認識することができた。自社の強みを可視化し、顧客目線では何を提供できるかを考え、自社の強みをアピールし、自社のブランディング戦略の見直しの参考にする。」(ブランド価値向上セミナー) <測定計測機器製造>

7 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一円 <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業の事務局を担うとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【年度総括】

令和 7 年度は、地域企業の知財活動の向上や知財に関わる人材育成等に取り組んだ。知財問題研究部会 (IP 部会) では、AI やマーケティング、法改正対応など最新の情報について取り扱った。また、知財実務交流事業 (知財カフェ) では、今年度は初めて中堅・中小企業担当者が課題や悩みを話し合う場を提供し、各社の対策や事例を共有し、自社へフィードバックをした。これらの活動を通して、最新情報の提供や企業

間連携の強化を図り、地域の知財活動の活性化に寄与した。

【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートする。また、知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動のレベルアップを図るとともに、知財に携わる人材育成を促進する。

(1) 総会

開催日：令和7年6月20日（金）
 会場：アクトシティ浜松 研修交流センター
 内容：令和6年度事業報告及び収支決算について
 令和7年度事業計画案及び収支予算案について
 役員、委員の選任について 等

(2) 幹事会

開催日：令和8年3月27日（金）
 会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
 内容：令和7年度事業報告及び収支決算について
 令和8年度事業計画案及び収支予算案について
 会則の改定について 等

(3) 知財問題研究部会（IP部会）

知的財産に関する法制度、判例、企業の知財活動などに関する研究及びディスカッションする場として「知財問題研究部会」を行う。

会場：アクトシティ浜松 研修交流センター 等

対象：会員企業の知財担当者、弁理士 等

進行：IP部会長、IP部会員

内容：IP部会長、IP部会委員を中心に協議し、企業の知財活動に関する各種テーマを取り上げるとともに、テーマに適した講師を選定し、講演と参加者による意見交換、ディスカッションを行う。

参加料：無料

参加者：各回30名程度

開催回	開催日	内容・講師
第109回	5月9日（金）	特許業務と生成AI
		よろず知財戦略コンサルティング 代表 萬 秀憲 氏
第110回	7月4日（金）	特許調査におけるAI
		スマートワークス(株) 代表取締役 酒井 美里氏
第111回	9月5日（金）	マーケティングの最強ツールは知財である
		KIT 虎ノ門大学院 教授 杉光 一成 氏
第112回	11月7日（金）	実例で見る令和5年改正商標法（他人の氏名・コンセント制度）
		弁理士法人 秀和特許事務所 弁理士 鶴田 崇 氏

第 113 回	1 月 9 日 (金)	ステルスダイシング訴訟を支えた知財ポータルフォリオの構築と知財戦略
		浜松ホトニクス(株) 部長 神山 信治 氏
第 114 回	3 月 6 日 (金)	標準必須特許 (SEP) について
		日本弁理士会 産業標準委員会 委員長 夫馬直樹 氏

(4) 知財経営研究部会 (CIPO 部会)

企業の経営者、知財部門責任者が抱えている課題や悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする。

会 場：浜松地域イノベーション推進機構 会議室 等

対 象：企業の知的財産部門の責任者 等

進 行：CIPO 部会長、知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

(5) 知財実務交流事業 (知財カフェ)

中堅・中小企業の知財に関わる方 (担当者、兼任者等) が抱えている知財管理、知財実務等に関する課題、悩み解決に向けた少人数による意見・情報交換、ディスカッションを行う

会 場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室 等

対 象：中小企業等の知財担当者

モデレーター：知財カフェ担当幹事、知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

8 特許等出願支援補助事業

決算額 35,200 円 <浜松市受託>

【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

【年度総括】

浜松市国内特許等出願費補助金の公募、審査及び個別フォローを実施し、地域中小企業等の産業財産権取得を支援した。特徴ある自社製品やサービスの仕組みについて、権利取得による保護に加え、事業展開や販路拡大への活用を見据えた申請がみられ、地域企業における知財活用意識の広がりがうかがえた。

併せて、過去の採択企業にフォローアップ調査を行い、権利取得の状況や製品の開発・販売状況等について確認した。今後はフォローアップ調査をした企業に個別に訪問し、知財以外も含めた課題の把握、解決支援に努める。

【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願に対し、浜松市が出願に係る経費の一部を補助するための準備業務及び個別フォローを行った。

(1) 浜松市国内特許等出願費補助金 (市予算 2,000 千円)

[1 次募集]

公募期間：令和7年4月10日（月）～6月30日（金）[1次]

対象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら
で構成される共同体

補助率：1/2以内

補助金額：上限150千円

対象経費：出願手数料、弁理士費用、先行技術調査費用

申請件数：9件

採択件数：9件

交付決定額：1,278千円（9件）

交付確定額：1,278千円（9件）

<交付確定企業一覧>

(単位：円)

No.	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	ジーリンクス(株)	特許	生体用乾式電極	150,000
2	(株)ファクトリーイン プルーブメント	特許	ストロー製造装置およびスト ロー製造方法	150,000
3	浜松ビジョンテクノ ロジー(株)	特許	遠隔緑内障診療システム構築 の中のスマートフォン視野計 の開発	150,000
4	コレット楽器	特許	鍵盤上の指先の動きを検出す るセンサを使った電子楽器	82,000
5	(株)eZov インターナシ ョナル	特許	脱臭装置	146,000
6	ジーニアルライト(株)	特許	抜針検知	150,000
7	(株)シルバコンパス	特許	仮想人物対話システム、仮想人 物対話サーバ及び仮想人物対 話プログラム	150,000
8	(株)小楠金属工業所	特許	ハサミゲージカバー	150,000
9	(株)サイト	特許	起立型鉄板洗浄機	150,000
計				1,278,000

[2次募集]

公募期間：令和7年9月5日（金）～11月28日（金）[2次]

申請件数：4件

採択件数：4件

交付決定額：600千円（4件）

交付確定額：600千円（4件）

<交付確定企業一覧>

(単位：円)

No.	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	浜口ウレタン(株)	特許	建物および建物における避難 設備の施工方法	150,000
2	(有)太悦鉄工	特許	ナノバルブ発生器	150,000
3	内田工業(株)	特許	ワークチャック具	150,000
4	(株)クリエイティブ・ システム	特許	ペット係留具	150,000
計				600,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
特許出願件数（国内）	9件	13件	10件

項目	令和6年度 ^{※1}	令和7年度 ^{※2}	
特許出願総数（国内） [※]	123件	136件	
特許出願登録件数（国内） [※]	64件	73件	

※：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成25年度からの累計

【利用者の声】

「出願後に販売を開始し、1000万円ほどの売上を上げている。」＜輸送機器用鉄軸物部品＞

「特許出願により模倣品の参入を抑制するとともに、取引先等に特許出願中と示すことで、信頼性向上と技術力のPRを図りたい。」＜緑化樹・庭園木等の生産卸＞

5 【学ぶ】 人材育成支援

9 製造中核人材育成事業

決算額 2,724,520 円 < 県補助・8 市町負担金 >

【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通した現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

【年度総括】

受け入れ企業の協力のもと、順調にプログラムを実施した。受講者は製造業の上流から下流に至るまで様々な生産現場を見学し、自社の生産工程に役立てる実践的な知識を習得した。また、グループワークやディスカッションを通じて、受講者間のネットワークが形成された。

【実施内容】

大手メーカーをはじめとした現場経験が豊富な講師陣による、ものづくりの基盤技術に関する講義と多彩な工場見学等を通じて、様々な製造工程や工場運営を学び、将来の工場長や現場マネージャーを育成する講座を開催した。

ア 製造中核人材育成講座

開催日：令和7年5月29日(木)～11月20日(木) < 全24回 >

会場：スズキ歴史館、愛知製鋼(株)知多工場(愛知県東海市)、(有)見野金型製作所、スズキ(株)相良工場(牧之原市)、(株)木村铸造所 御前崎工場(御前崎市)、浜松商工会議所会館、ヤマハ発動機(株)磐田南工場(磐田市)、西誠(株)、藤本工業(株)根洗工場、(株)豊田自動織機 高浜工場(愛知県高浜市)、(株)ソミックエンジニアリング、(株)山田 豊田工場(磐田市)、(株)丸山コーポレーション、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松、トクラス(株)、イオインダストリー(株)(湖西市)、(株)小沢精密工業、浜松熱処理工業(株) 細江工場ほか

内容：基盤製造技術の座学、特徴ある地域企業等の現場見学、現場実習

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：15 社 15 名 (定員：15 名)

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
「製造中核人材育成講座」受講者数	15名	15名	15名
「製造中核人材育成講座」受講者満足度	100%	100%	90%以上

【利用者の声】

「製鉄や完成車メーカーの大手工場見学が参考になった。完成車メーカー等の大きなコストをかけたシステム構築などは目指すべき管理方法として理解することが出来たことに加えて、ルールを守らせる仕組み作り等のコストだけではない改善も多く見られた。」 <自動車部品製造>

10 現場力向上人材育成事業

決算額 1,992,417 円 <県補助・8市町負担金>

【目的】

生産現場のリーダー層を対象に、改善活動に必要な知識・ノウハウを体系的に学ぶとともに、現場マネジメントに必要な心構えを身に付ける機会を提供することで、現場改善の実践を通じた生産性の向上を図る。

【年度総括】

今年度は各種セミナーや講座を通じて、現場改善における「デジタル活用」の重要性の浸透を図った。近年注目されることが多い生成 AI の現場改善における具体的な活用事例には高い関心が寄せられた。

【実施内容】

生産現場のリーダー層を対象に、改善活動に必要な知識・ノウハウを体系的に学ぶとともに、現場マネジメントに必要な心構えを身に付けるセミナー等を開催した。

加えて、現場改善の実践等に取り組む意識の高い中小企業に対しては、技術コーディネーターや専門家を派遣し伴走支援を実施した。

(1) 現場改善の重要性啓発

ア 中小ものづくり企業のための現場改善セミナー

開催日：令和7年6月20日（金）

会場：グランドホテル浜松

講師：①関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏

②(株)Japan IT Produce（静岡市） 代表取締役 長谷川 徹 氏

内容：①「製造業の現場改善ステップ～KAIZEN for DX で強い工場へ！～」

②「生成 AI が支える現場改善の新常識」

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：21 社 27 名（定員：50 名）

(2) 改善の基礎知識習得

ア 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール（全5回）

開催日：令和7年7月28日（月）～9月1日（月）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室ほか

講師：関ものづくり研究所代表 関 伸一 氏

内容：ものづくり現場のデジタル化を踏まえた現場改善に係る基礎的講座

受講料：[県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者：12 社 19 名（定員：20 名）

イ 「成果が上がる、人が育つ、チームが育つ」改善推進スクール（全3回）

開催日：令和8年1月13日（火）～2月10日（火）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室ほか

講師：(株)ティムネット（愛知県刈谷市）パートナー 当麻 満男 氏

内容：トヨタ生産方式を中心とした現場改善に係る基礎的講座

受講料：[県西部地域] 5,000 円、[県西部地域外] 10,000 円

参加者：11 社 19 名（定員：20 名）

ウ 実践品質管理講座（初級編）

開催日：令和7年10月3日（金）10日（金）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
 内 容：QC 検定 3 級（QC7 つ道具）程度の品質管理の知識
 受講料：〔県西部地域〕 5,000 円、〔県西部地域外〕 10,000 円
 参加者：14 社 20 名（定員：20 名）

エ 実践品質管理講座（中級編）

開催日：令和 7 年 11 月 13 日（木）20 日（木）
 会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室ほか
 講 師：関ものづくり研究所 代表 関 伸一 氏
 内 容：QC 検定 2 級（統計的品質管理）程度の品質管理の知識
 受講料：〔県西部地域〕 5,000 円、〔県西部地域外〕 10,000 円
 参加者：5 社 12 名（定員：20 名）

(3) 改善実践支援

ア 県西部地域企業の希望に応じて技術 CD 又は専門家を派遣し、諸課題の解決を図った。

実施期間：通年

実施内容：現場改善

伴走支援企業：3 社：丸和精機㈱（掛川市）、(有)マイス(磐田市)、
 (有)丸康工業所(袋井市)

支援回数：12 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度
現場改善実践支援企業数	3 社	3 社	4 社
企業訪問件数	6 件	12 件	20 件

1 1 原価管理実践支援事業

決算額 1,397,480 円 < 県補助・8 市町負担金 >

【目的】

物価高騰が続く中で、地域の中小製造業において原価管理の必要性に対する理解を広め、原価計算の手法を身に付けてコスト削減や価格交渉への活用を促すことで、利益改善につなげる。

【年度総括】

6 年度の試行を経て 7 年度から事業化したが、原価管理はもちろん、その基となる原価計算も十分に実施されていない中小製造業は多く、物価高騰が続く中で原価低減を図るためにも本事業の意義は大きい。専門家派遣による実践支援も年間目標を上回る企業から依頼があり、自律的に原価改善が実践できるよう支援を実施した。

【実施内容】

地域中小企業における原価管理の必要性に対する理解を広め、原価管理の手法を身に付けてコスト削減や価格交渉への活用を促進するため、原価管理の必要性を学ぶセミナーや専門家による伴走支援を実施した。

(1) 原価管理の理解促進、手法習得

ア 中小製造業の利益改善のための「原価管理の基本」セミナー

開催日：令和7年6月24日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：㈱ME マネジメントサービス（東京都大田区）顧問 小川 正樹 氏

内容：原価の仕組み、原価計算と原価の使い方、コストダウンと原価管理

受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：24 社 37 名（定員：50 名）

イ 「原価計算の基礎とコストダウンへの活かし方」ワークショップ

開催日：令和7年8月20日（水）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：㈱ME マネジメントサービス（東京都大田区）顧問 小川 正樹 氏

内容：中小製造業をモデルケースに、原価計算手法を実践的に学ぶ

受講料：[県西部地域] 3,000 円、[県西部地域外] 6,000 円

参加者：10 社 15 名（定員：20 名）

(2) 改善実践支援

県西部地域企業の希望に応じて専門家を派遣し、原価管理に関する課題の解決を図る。

実施期間：通年

伴走支援企業：5 社：ソフトプレシ工業㈱、㈱ヤマト製作所、㈱アイテック（磐田市）、藤本工業㈱、㈱杉山製作所（御前崎市）

支援回数：23 回

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
原価管理実践支援数	2 社	5 社	4 社
企業訪問件数	4 件	23 件	20 件

【利用者の声】

「原価計算の仕組みを作って終わりではなく、それを使ってどれだけ利益を増やしていけるかだと感じている。今回教わってことを活かし、利益アップと会社の発展に繋がりたい。」（改善伴走支援）＜ブロー成型＞

「2 年間にわたりゼロベースから懇切丁寧にご指導いただいた。今後のアクションが重要なので進捗報告する。」（改善伴走支援）＜エアクリーナー製造＞

1 2 多様な人材が活躍する職場環境づくり支援事業

決算額 326,934 円 <浜松市受託>

【目的】

少子高齢化に伴い労働力人口が減少する中、地域中小企業においても多様な人材（シニア、女性等）の活躍による労働力の充足、能力の活用が期待されている。これらの人材が活躍できる職場環境を整備し、人々に選ばれる企業になることで、労働力の確保を促進する。

【年度総括】

多様な人材の活躍に向けて、企業や関係団体へのヒアリングを踏まえ、シニア、女性に関するセミナーを開催した。特にものづくり企業に焦点をあて、働きやすい職場づくりの実践事例、国等の支援制度などについて情報提供を行った。

人手不足が進む中、多様な人材が活躍できる職場環境づくりは、労働力確保のみならず企業の競争力向上にもつながる重要なテーマであり、今後も、地域企業の実情に即した情報提供と普及啓発を通じて、多様な人材が活躍できる環境づくりを支援していく。

【実施内容】

多様な人材が活躍するための仕組みづくり、対策等についての啓発や先進事例となる企業の事例発表を実施した。

ア ものづくり企業のためのシニア(高齢者)人材活用セミナー

開催日：令和7年10月30日(木)

会場：グランドホテル浜松

講師：①藤井社会保険労務士事務所 藤井 冬仁 氏

②㈱ソミックエンジニアリング 代表取締役社長 池田 文彦 氏

内容：①ソフト面の対応、ハード面の対応

②事例発表

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：25社31名(定員：50名)

イ ものづくり企業のための女性活躍推進セミナー

開催日：令和8年3月13日(金)

会場：グランドホテル浜松

講師：①武庫川女子大学 経営学部 准教授 山下 紗矢佳 氏

②コーケン工業㈱ 総務部経理課 課長 齋藤 亜裕美 氏

内容：①多様性を戦略に変える 一次世代に選ばれる組織とは一

②事例発表

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：32社35名(定員：30名)

【利用者の声】

「具体的な取り組みや参考になる取り組みも聞けたので、自社でも取り入れていきたい。」(女性活躍推進セミナー)〈総合建設業〉

「セミナーで聞いた内容を活かして、多様な人材に自社の魅力を訴えられるように求人チラシを改訂する。」(女性活躍推進セミナー)〈総合塗料メーカー〉

1.3 はままつ丸ごとオープンファクトリー事業

決算額 1,979,480 円 <浜松市受託>

【目的】

オープンファクトリーや企業紹介を通じて、地域産業及び地域ものづくり中小企業の魅力を次世代人材(次世代産業の担い手)やその保護者、住民、学校関係者などに発信し、地域ものづくり産業への関心を高める。

【年度総括】

次世代人材（小中学生）とその保護者、地域住民を対象として、浜名区の中小企業3社でオープンファクトリーを開催した。各社ともほぼ定員通りの参加があり、ターゲットとした小学生の参加が多く、ものづくり企業に対する興味、関心を高めることができた。高校生に対しては、浜松工業高校の学生の地域企業見学ツアーを実施した。参加した生徒の中小企業にもつ印象の変化などが見られ好評だった。なお、高校生を対象とした企業見学ツアーに先立ち、浜松工業高校の教員を対象とした企業見学会も実施し、地域中小企業への理解を深めることができた。

学校と地域企業とのマッチングは、(一社)シヅクリが中学校、高校向けに展開する地域探求プログラム「エンジン」を活用し、浜松市、湖西市の中学校、高校に対して市内中小企業4社の訪問授業を実施した。各校3回の訪問授業を通して、地域企業との連携、知名度の向上を図ることができた。

【実施内容】

高校生及び高校教員を対象とした地域企業工場見学ツアー及び次世代人材とその保護者、地域住民を対象としたオープンファクトリー、地域探求プログラム「エンジン」の活用を通して、魅力ある地域企業の認知度向上を図り、将来的な地域企業への就職に繋げる。

(1) オープンファクトリー等による地域企業紹介

ア. 高校生（浜松工業）向け現場見学会

開催日：令和8年3月6日（金）

会場：(株)日本設計工業、A.I.S(株)、藤本工業(株)、(株)大洋製作所、沢根スプリング(株)、(株)小沢精密工業、次世代自動車センターベンチマークルーム

内容：企業紹介、工場見学

参加料：無料

参加者：31名

イ. 教員（浜松工業）向け現場見学会

開催日：令和7年11月25日（火）、26日（水）、27日（木）

会場：沢根スプリング(株)、A.I.S(株)、(株)上野鉄工場、渥美浜北(株)、神谷理研(株)、(株)小沢精密工業

内容：企業紹介、工場見学

参加料：無料

参加者：16名

ウ. はままつまるごとオープンファクトリー

開催日：令和8年2月23日（月）

会場：(株)イハラ製作所、藤本工業(株)、(株)ヤマト製作所

内容：工場見学、ワークショップ

参加料：無料

参加者：35名

(2) 学校と地域企業とのマッチング

参加企業：4社

(株)東洋鐵工所、橋本エンジニアリング(株)、橋本螺子(株)、藤本工業(株)

訪問先：①浜松湖東高校（藤本工業(株)）

②クラーク高校（橋本エンジニアリング(株)）

③浜松大平台高校（橋本螺子(株)）

④可美中学校（(株)東洋鐵工所）

実 施：令和8年1月

内 容：MOSAIQUE Pvt.Ltd.(インド)で日本語及び日本式ビジネスマナーを学んでいる現地の工学系の学生を市内企業で2～3週間、インターンとして受入れ研修実施

受入数：6名（IT系、機械工学系）

参 加：ASTI(株)、(株)ヤマト製作所、朝日電装(株)、第一工業(株)

参加費：無料（インターンの住居費等は企業負担）

結 果：受入ノウハウの有効な習得機会となり、さらに受入企業全4社が合計4名の採用オファーを出し、うち3名の採用が内定

【利用者の声】

「インド人は、日本人に比べて学びたいという意欲が旺盛。当社としても本社にインド人はいないため、インド工場の懸け橋となるようにインド人材の採用を進めたい。」
<車載電装品製造>

「インターンは仕事への姿勢は非常に前向きで、さらに勉強したいという意欲が強かった。日本語の能力も高く、インドの現地メーカーとオンライン会議を行った際、通訳も問題なくできた。コミュニケーションスキルも抜群であり、社員全員にかわいがられていた。ぜひ今後採用を進めたい。」<エアクリナー製造>

6【創る】新事業開発支援

15 生産性向上等支援事業

決算額 6,938,731 円 <浜松市受託>

【目的】

浜松地域のものづくり製造業においてデジタル、IoT、産業用ロボット、AI 等の新たなツールの活用を促進し、スマートファクトリー化や生産性向上を通じた競争力の強化を図るとともに、成長が見込まれる新たな産業分野との連携を促進させ、成長産業の集積地を目指す。

【年度総括】

浜松地域のものづくり製造業の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するためワークショップを開催し、導入側の課題や要望を共有した。また、スマートファクトリーやデータ活用については、スマートものづくり支援デスクコーディネーターが課題の整理や解決案の提示等をきめ細かく対応した。

【実施内容】

浜松地域のものづくり製造業においてデジタル、IoT、産業用ロボット、AI 等の新たなツールの活用を促進し、スマートファクトリー化や生産性向上を通じた競争力の強化を図るとともに、中小企業の生産性向上を支援し地域経済の発展へと繋げた。加えて中小企業の課題に専門家が伴走支援を行いスマートファクトリー化の早期実現、データ活用人材の育成支援を図った。

(1) 導入支援

ア ワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」

場 所：浜松地域イノベーション推進機構及び企業の現場

内 容：生産性向上等の相談、地域支援機関等への紹介など

スタッフ：チーフデスク、技術コーディネーター1名、アドバイザー2名

連携機関：静岡県、浜松商工会議所（浜松ロボット産業創成研究会）、浜松地域中小ものづくり企業 IoT 化推進協議会、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松、浜松工業技術支援センター など

相談実績：50 件

（ロボット：16 件、デジタル/IoT：26 件、生産性向上：8 件）

デジタル・IoT 等導入支援：4 件

ビジネス連携マッチング：8 件

イ ものづくり DX 経営セミナー

開催日：令和7年10月9日（木）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：①(一社)製造 DX 協会（東京都品川区） 代表理事 林 英俊 氏

②(株)スカイディスク（福岡県福岡市） 取締役 CSO 後藤 健太郎 氏

内 容：①在庫管理と日本式製造 DX

②数字が導く、DX の最短ルート～数字を読み解けば、変革の起点が見える

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：21 社 22 名（定員：50 名）

<セミナー参加者へのアフターフォロー>

自社のデジタル化を効率的に実装するため、専門家によるアフターフォロー

を実施し、個々の目的・内容・課題にあった伴走支援を行う。

ウ スマートファクトリー化実践支援

ものづくり製造業のスマートファクトリー化を進める伴走支援を行う。

実施期間：通年

伴走支援企業：2社：(株)平井鉄工所、(株)モールド技研

支援回数：3回

エ データ活用実践支援

中小製造業のデータ活用の実践に向け、支援先企業内のプロジェクトメンバーの育成、社内で自律的にデータ活用が展開されるよう伴走支援を行う。

実施期間：通年

伴走支援企業：2社：(株)ヤマト製作所、藤本工業(株)

支援回数：16回

オ 自動化・ロボット導入ワークショップ

開催日：①令和7年9月26日(金)、②12月9日(火)

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：元ヤマハ発動機(株) (磐田市) 柳澤 豊 氏

内容：ものづくり中小企業が、製造工程の基本的な考え方や手法について、事例を通じた工程設計を学ぶ

受講料：[市内] 2,500円 [市外] 5,000円

参加者：①8社12名(定員：12名)

②6社7名(定員：12名)

カ 自動化・ロボット導入実践支援

中小製造業の自動化、ロボット導入に向け、専門家による業務分析、工程分析を踏まえた課題解決策の提案をもとに伴走支援を行った。

実施期間：通年

伴走支援企業：1社：城北機業(株)

支援回数：7回

キ IoT・ロボット導入企業現場見学会

開催日：令和8年3月9日(月)

会場：(株)東洋鐵工所、藤本工業(株)

内容：ロボット導入している先進企業の工場見学

参加料：[市内] 1,000円、[市外] 2,000円

参加者：9社11名(定員：10名)

ク 製造業向けAI活用実践講習会

開催日：令和8年2月25日(水)

会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：名倉IT経営研究所・中小企業診断士事務所 名倉 真史氏

内容：①生成AIってなんだろう

②生成AIの種類とビジネス利用 / 生成AIのできること

③活用事例紹介 ((株)エフワイケー)

④生成AIの操作体験実習

参加者：17社22名(定員：20名)

(2) 人材育成支援

ア 産業用ロボット教示スクール（全2日×6期）

開催日：①令和7年4月16日（水）、17日（木）
②令和7年6月18日（水）、19日（木）
③令和7年8月20日（水）、21日（木）
④令和7年10月15日（水）、16日（木）
⑤令和7年12月17日（水）、18日（木）
⑥令和8年2月18日（水）、19日（木）

会場：㈱東洋鐵工所

内容：産業用ロボットに関する知識と操作方法
産業用ロボットの教示作業の知識と操作

受講料：20,000円

参加者：①5社8名（定員：12名）
②7社12名（定員：12名）
③9社11名（定員：12名）
④8社12名（定員：12名）
⑤8社12名（定員：12名）
⑥8社12名（定員：12名）

共催：浜松テクノカレッジ（静岡県立浜松技術専門学校）

後援：浜松商工会議所、ロボット産業創成研究会

イ ロボット活用技術セミナー（全4回）

開催日：①令和7年7月2日（水）、3日（木）
②令和7年8月4日（月）、5日（火）
③令和7年9月3日（水）、4日（木）
④令和8年2月18日（水）、19日（木）

会場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

内容：ロボット安全と周辺技術およびロボット・PLCのプログラミング技術の基礎

受講料：①[市内] 7,000円、[市外] 14,000円
②[市内] 7,000円、[市外] 14,000円
③[市内] 7,000円、[市外] 14,000円
④[市内] 13,000円、[市外] 26,000円

参加者：①3社5名（定員：9名）
②5社8名（定員：9名）
③7社10名（定員：9名）
④5社5名（定員：6名）

ウ IoT・データ活用実践講座

開催日：①令和7年6月25日（水）
②令和7年7月23日（水）
③令和7年8月27日（水）
④令和7年9月24日（水）
⑤令和7年10月29日（水）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：アトモスエンジニアリング代表 坂本 孝夫 氏

内容：ラズベリーパイを活用してIoTの実践として、予知保全システムの構築方法を学ぶ

受講料：[市内] 15,000 円、[市外] 30,000 円

※別途、教材費 45,000 円

参加者：9 社 10 名（定員 10 名）

エ データサイエンス啓発セミナー

開催日：令和 7 年 11 月 26 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：元ヤマハ発動機(株)（磐田市）高嶋 千代久 氏

内 容：製造現場の生産工程を管理・最適化するためのシステム（MES）によるデータ活用を学ぶ

参加料：無料

参加者：13 社 21 名（定員：30 名）

(3) ビジネス連携

ア DX 連携ワークショップ

開催日：令和 8 年 3 月 11 日(水)

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

講 師：(一社)日本ディープラーニング協会 CDLE 伊藤 明裕氏

内 容：フィジカル AI×ロボットの融合とビジネス展開について

参加料：無料

参加者：9 社 11 名（定員：10 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	70 件	50 件	70 件
生産性向上ツール導入企業数 ※デジタル・IoT・ロボット導入	1 社	4 件	3 社
ビジネス連携マッチング件数	10 件	8 件	5 件

【利用者の声】

「DXを進めて行く上での注意点や方向性が理解できた。」（ものづくり DX 経営セミナー）<金属製品>

「AI 活用の実例に基づく具体的な利用方法の説明が、自社の現場に反映することをイメージする上で大変参考になった。」（製造業向け AI 活用実践講習会）<非鉄金属設計・製造>

1 6 中小企業脱炭素経営支援事業

決算額 8,637,834 円 <浜松市受託>

【目的】

浜松市地球温暖化対策実行計画に掲げる令和 12 年度（2030 年）の温室効果ガス排出量の削減目標達成に向け、地域内における中小企業の脱炭素経営を促進する。

【年度総括】

脱炭素経営支援員 2 名による相談対応や簡易診断、専門家派遣を実施した。特に、浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアムメンバーとの連携によって相談企業の掘り起こしや相談企業への事前ヒアリングを行うことで迅速な支援に繋がった。また、支援

企業毎にカルテ（経過記録簿）を作成し、設備や支援履歴情報を見える化、コンソーシアムの関係機関との情報共有を図った。簡易診断を行った企業では削減計画を作成し、計画に沿って運用改善や設備改修まで進めることができた。その結果、使用電力量が診断前と比べて減らせたことで目に見える成果を出すことができた。

引き続き、コンソーシアムメンバーとの連携や脱炭素経営支援員による企業訪問を通じて地域企業の省エネ等の実現に向けた伴走支援を実施していく。

【実施内容】

(1) ワンストップ窓口の設置

脱炭素経営の相談を受け付ける常設窓口「はままつ脱炭素経営支援デスク」に脱炭素経営支援員 2 名配置し、地域中小企業からの相談に対応した。

設 置：令和 7 年 4 月 1 日（月）

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構

対 象：地域中小企業者等

内 容：脱炭素経営に関する各種相談対応及び支援施策等の紹介

ア 相談会の実施

内 容：脱炭素経営に関する各種相談に脱炭素経営支援員が対応した。

相談数：2 社

イ 支援活動

内 容：脱炭素経営に関する各種相談に対し、脱炭素経営支援が訪問し各種課題に対応した。

支援企業数：38 社延べ 64 回

(2) ワーキンググループの運営

本事業で実施する事業内容の企画・検討及び伴走支援に状況等を地域機関で共有するため、コンソーシアムメンバーによるワーキンググループを運営した。

管理者会議：2 回（5 月 21 日（水）、令和 8 年 3 月 17 日（火））

担当者会議：2 回（6 月 26 日（木）、10 月 17 日（木）、令和 8 年 2 月 9 日（月））

(3) 普及啓発活動

中小企業の脱炭素経営に向けた啓発・意識醸成を図ることを目的としたセミナーを次世代自動車センター浜松と共同で開催した。

ア 脱炭素経営支援デスク等の説明

内 容：金融機関、産業支援機関等に出向き説明会を開催 9 回

イ カーボンニュートラル対応技術動向講演会

開催日：令和 7 年 9 月 2 日（火）

会 場：クラウンパレス浜松

講 師：①浜松市産業部カーボンニュートラル推進課

参事 課長 原田 憲治 氏

②ENEOS(株)（東京都千代田区）

潤滑油カンパニー 潤滑油研究開発部長 金原 栄治 氏

③（公財）浜松地域イノベーション推進機構 副理事長

次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

（公財）浜松地域イノベーション推進機構

脱炭素経営支援員 鈴木 正法

内 容：①浜松地域脱炭素経営支援コンソーシアムの概要

②カーボンニュートラル社会実現に向けた ENEOS の取り組みについて

③製造時 CO2 削減活動について

参加料：無料

参加者：76 社 137 名（定員：200 名）

(4) 専門家派遣の実施

脱炭素経営、CN 簡易診断、カーボンニュートラル推進等に課題を持つ企業へ
専門家を派遣し課題解決に向け支援 12 社 84 件

(5) 省エネ対策支援業務

省エネを始めたい地域企業に対し CN 簡易診断を行い削減計画の策定を支援

(6) 省エネ診断動画コンテンツ

地域企業の省エネルギー診断の実施を促進するため、企業や金融機関等がいつ
でも閲覧できるショート動画コンテンツを作成 9 テーマ

(7) 省エネモニター事業

地域企業が省エネルギー診断を行い、その結果や省エネの取組みを紹介する資
料を財団・浜松市の HP 等で公開 10 社

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 7 年度
脱炭素の取組みに関する相談対応	37 件	64 件	100 件
専門家派遣	10 件	84 件	40 件

【利用者の声】

「脱炭素経営支援員による簡易診断を受け、工場内の電力使用量の見える化から改善提案（運用改善・設備改修等）を実施した。改善にあたり業者との調整も支援頂きスムーズに設備改修が短期間で済んだ。」（専門家派遣）<㈱エンコース>

1.7 事業継続力支援事業

決算額 356,565 円 <浜松市受託>

【目的】

大規模な自然災害の発生やサイバー攻撃等の緊急事態に備え、事業を継続するために予め計画を策定するなど、平時からの準備について促進を図る。

【年度総括】

中小企業が自然災害や感染症等のリスクに備え、事業継続計画（BCP）を実効性のある形で整備・運用できるよう ISO22301（事業継続マネジメントシステム）にそった内容のセミナーを実施した。受講企業が自社の脆弱性を把握し、優先すべき対策を明確化できた点が大きな成果である。一方で、BCP の継続的な見直しや訓練の実施には企業側のリソース不足が依然として課題であり、今後はフォローアップ支援やデジタルツール活用による効率化を進めていく。

【実施内容】

(1) BCP 解説セミナー

開催日：令和 7 年 12 月 10 日（水）

会 場：グランドホテル浜松

講 師：一般財団法人日本品質保証機構（東京都千代田区）

マネジメントシステム部門事業開発室 倉光 豊 氏

内 容：防災と危機管理、自然災害・感染症のリスクと備え、情報通信災害のリスクの備え、BCP策定及び見直しのポイント

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：16社24名（定員：50名）

【利用者の声】

「BCPの基本的な考え方、見直すべき内容を理解することができた。」 <試作製造>

18 新事業創出支援事業

決算額 23,839,064 円 <浜松市受託>

【目的】

新事業の創出を目指す地域中小企業に対して、マインド醸成や新規事業創出手法の習得を図るとともに、マーケット戦略等に精通した専門家と連携し、企画から事業計画の策定まで、伴走支援を実施する。これにより、地域中小企業の新事業を創出するとともに、持続的な企業成長の実現を促進する。

【年度総括】

挑む中小企業プロジェクト2025では、中小企業が新規事業を構想し、実行可能なビジネスモデルへと磨き上げるための伴走支援を実施した。本年度は、専門家による個別メンタリング、実践型ワークショップ、ピッチ機会の提供を通じて、参加企業が自社の強みを再確認し、新市場への挑戦に向けた具体的な新規事業計画を策定した。特に、顧客課題の深掘りや仮説検証のプロセスが定着し、事業化に向けた意思決定の質が向上した。また、参加企業同士のネットワーク形成も進み、協業に向けた意見交換も行われた。今後は事業化フェーズへ進むための継続的なフォローアップが求められる。引き続き、参加企業同士のネットワーク形成と新規事業計画のブラッシュアップについて委託事業者と連携して伴走支援を行う。

【実施内容】

新規事業に挑戦する企業マインドの醸成を促す啓発セミナーとワークショップを実施した。また、新規事業計画書策定を通じて新事業創出手法の習得を目指す半年間にわたる新事業創出支援プログラムを実施し、併せてメンターによる伴走支援を行うことで持続的な成長の促進を図った。

(1) 新事業創出セミナー

- ・新事業創出支援事業キックオフセミナー

開催日：令和7年6月27日（金）

会 場：アゴラ浜松 6階大会議室

講 師：第1部 ㈱ユニコーンファーム（東京都渋谷区）

代表取締役 CEO 田所 雅之氏

第2部 ㈱ヤマト製作所 経営企画室 総務部主任 宗田 涼氏

シンニチ工業㈱（愛知県豊川市）

取締役 商品開発室長 岡本 和久氏

内 容：第1部 講演：中小企業のイノベーションの極意

第2部 挑む地域企業トークセッション

～参加企業の成果事例とその後～

対 象：地域中小企業の経営者等
参加料：無料
参加者：38社38名（定員：50名）

・成長分野進出促進セミナー

開催日：令和7年12月19日（金）
会 場：The Garage
講 師：(株)イシダテック（焼津市）代表取締役社長 石田 尚氏
内 容：熟練の技術×最新テック 老舗ものづくり企業が描く成長戦略
対 象：中小企業の経営者等
参加料：無料
参加者：27社27名（定員：50名）

(2) マインド醸成ワークショップ（全3回）

開催日：第1回 令和7年7月10日（木）
会 場：The Garage
講 師：ワルツ(株)（愛知県豊橋市）営業企画グループ マネージャー
小林 重仁 氏
内 容：第1部 講演：地域の中小企業×スタートアップ
協業で起こす新事業展開

第2部 参加者同士のディスカッション及び全体共有
対 象：地域中小企業の経営者等
参加料：無料
参加者：8社8名（定員：25名）

開催日：第2回 令和7年8月6日（火）
会 場：The Garage
講 師：(株)トヨコー（富士市）代表取締役 CEO 豊澤 一晃氏
内 容：第1部 講演：アトツギ経営者のイノベーションと
上場ストーリー

第2部 参加者同士のディスカッション及び全体共有
対 象：地域中小企業の経営者等
参加料：無料
参加者：11社11名（定員：25名）

開催日：第3回 令和7年9月4日（金）
会 場：SOU
講 師：第1部 (株)SHONAL（山形県鶴岡市）代表取締役 山中 大介氏
第2部 ソフトブレン工業(株) 専務取締役 前嶋 聡志氏
明石グループ 代表 明石 真氏
内 容：第1部 講演：100億企業を生み出す地方発の新規事業戦略とは
第2部 参加者同士のディスカッション及び全体共有
対 象：地域中小企業の経営者等
参加料：無料
参加者：35社37名（定員：40名）

(3) デザイン思考ワークショップ（全3回）

開催日：第1回 令和7年8月5日（火）
第2回 令和7年8月26日（火）

第3回 令和7年9月2日(火)

会場：The Garage

講師：MAHO-LA CREATIVE(株) (東京都調布市)

代表取締役 櫻井 亮 氏

内容：「デザイン思考」を体系的に学ぶ3日間のプログラム

対象：全3回すべてに参加ができる地域中小企業の経営者等

参加料：無料

参加者：10社13名(定員：20名)

(4) インキュベーション・アクセラレーションプログラム

(通称：挑むプロジェクト2025)

開催日：令和7年9月26日(金)～令和8年2月27日(金)

会場：The Garage

講師：(株)ユニコーンファーム (東京都渋谷区)

代表取締役 CEO 田所 雅之 氏

内容：①リアル開催 令和7年9月26日(金) 初回講義・ワークショップ

令和7年12月19日(金) 中間メンタリング

令和8年2月27日(金) 最終報告会(デモデイ)

②WEB開催

・各月1回の全体講義

・各月1～2回の専門家によるメンタリング

③その他

・(株)ユニコーンファームが保有する独自の動画学習コンテンツの提供

・シェアオフィス「Garage」での個別相談や交流の場の提供

対象：地域中小企業の経営者等

参加料：1社20万円(税込)

参加者：15社26名(定員：15社)

[市内] 13社21名、[市外] 2社5名

(株)いなさ、(株)エース技研、(株)エンコース、三光製作(株)、テイボー(株)、(株)NOKIOO、BEYON CHEMICA(有)、(株)モリロボ、(株)ヤマト製作所、テガラ(株)、(株)遠州ハママツモーター、(株)斎藤鉄工所(富士市)、(株)スズヒロ、(有)浜名樹脂(湖西市)、ソコラボ

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
参加企業数	92社	144社	50社
伴走支援企業	16社	15社	15社

【利用者の声】

「今回のプログラムは非常に価値があった。また、本事業に参加して得たネットワークは大きな資産なので、参加企業と横連携が生まれるように活動していきたい。」

<マーケティングペン先製造>

「顧客へのヒアリングの重要性を再認識し、マーケティング活動を進められた。結果、刺さりそうなプロトタイプサービスを作ることができた。」<産業機械製造>

19 新事業挑戦支援事業

決算額 279,400 円 <浜松市受託>

【目的】

浜松市内中小企業の新事業展開を支援することで、輸送用機器産業に次ぐ新たな地域経済を牽引する成長産業の創出につなげる。

【年度総括】

浜松市新事業挑戦事業費補助金 6 件、浜松市新産業創出事業費補助金 28 件、浜松市海外展開事業化可能性調査費補助金 4 件を採択した。今後は令和 7 年度 9 月補正予算分として採択された案件に関して、事業期間は、令和 9 年 2 月末までであり着実に補助事業が遂行されるよう、当財団にて進捗管理、サポートを実施していく。

【実施内容】

浜松市が定める成長 7 分野を対象に新分野への参入及び新技術の獲得のための一次試作開発や新技術・新製品の研究開発及び事業化、さらには、海外拠点設立または海外販路拡大を検討する際の事前調査に必要な経費の一部補助を行い、浜松経済を牽引する成長産業の創出を促進した。

(1) 浜松市新事業挑戦事業費補助金

浜松市内の中小企業者に対し、浜松市が製品開発における一次試作開発費に係る経費の一部を補助するため、補助金の準備・審査業務と伴走支援業務を行った。

対象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者 2 者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2

補助額：上限 1,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、開発設計費、外注委託費、技術指導購入費、借損料、消耗品費等

ア 当初予算事業費枠（市予算補助金総額 3,000 千円）

公募期間：令和 7 年 3 月 24 日（月）～4 月 30 日（水）

事業期間：交付決定後～令和 8 年 2 月 28 日（土）

申請件数：4 件

採択件数：4 件

交付決定額：3,000,000 円

交付確定額：2,015,508 円

<交付確定企業一覧>

(単位：円)

1	企業名	藤本工業㈱	交付確定額	433,276
	[成長 7 分野] デジタル関連事業			
	[事業名]	バリ取り工程の挙動軌跡の曲面化による習得システムの展開		
	[製造・生産技術等]	バリ取り加工技術、挙動軌跡の曲面化解析技術		
2	企業名	(有)太悦鉄工	交付確定額	652,480
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名]	工業用水溶性切削油をナノバブル化するナノバブル発生器の製品開発		
	[製造・生産技術等]	耐油性の高い金属製ナノバブル発生器		

3	企業名	(株)エヌエスティー	交付決定額	325,894
	[成長7分野] 新農業関連事業			
	[事業名] 農作物の害虫発生状況モニタリングにおける捕虫ユニットの開発 [製造・生産技術等] ローカル無線を使ったデータ収集クラウドシステム、害虫識別アルゴリズム			
4	企業名	(株)エイ・エム・シー	交付決定額	603,858
	[成長7分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] 水冷保冷剤冷却方式新型ネッククーラー「ハビタブル」の開発 [製造・生産技術等] ペルチェ素子を活用した水冷システム			
合計			2,015,508	

イ 9月補正予算事業費枠（市予算補助金総額 3,000 千円）

公募期間：【第1期】令和7年9月22日（月）～11月28日（金）

【第2期】令和7年12月4日（木）～3月13日（金）

事業期間：交付決定後～令和9年2月28日（日）

申請件数：【第1期】0件 【第2期】2件

採択件数：【第1期】0件 【第2期】2件

交付決定額：2,000,000円

交付確定額：－円

<交付決定企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	(株)フィットメトリクス	交付決定額	1,000,000
	[成長7分野] 新農業関連事業			
	[事業名] グリーンハウス内有線ドローンによる常設型モニタリングシステムの一次試作開発 [製造・生産技術等] 有線給電・通信を前提とした小型ドローンの電源・機構統合設計技術			
2	企業名	(株)大日機工	交付決定額	1,000,000
	[成長7分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 工作機械向けナノバブル発生器校の低コスト化技術の開発 [製造・生産技術等] 3D設計・3Dプリンティング、切削加工			
合計			2,000,000	

(2) 浜松市新産業創出事業費補助金

浜松市内中小企業等に対し成長7分野に関係する新製品開発に要する費用の一部を補助する。財団は、本事業の準備・審査業務及び伴走支援を行った。

対象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2

補助額：上限 10,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、開発設計費、外注委託費、技術指導購入費、借損料、消耗品費等

ア 当初予算事業費枠（市予算補助金総額 110,000 千円）

公募期間：令和7年3月24日（月）～4月30日（水）

事業期間：交付決定後～令和8年2月28日（土）

申請件数：21件

採択件数：14 件

交付決定額：110,000,000 円（14 件）

交付確定額：85,673,934 円（13 件）

< 交付確定企業一覧 >

(単位：円)

1	企業名	㈱クリエイティブ・システム	交付確定額	4,293,652
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 有機消臭土を活用した業務用生ごみ処理装置の開発			
2	企業名	㈱SPLYZA	交付確定額	9,617,459
	[成長 7 分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] マーカーレス 3D モーションキャプチャ技術の医療現場への展開			
3	企業名	三光製作㈱	交付確定額	3,530,755
	[成長 7 分野] 光・電子関連事業			
	[事業名] 高耐久性光低反射黒色無電解メッキ技術の開発			
4	企業名	大石測器㈱	交付確定額	2,792,747
	[成長 7 分野] 光・電子関連事業			
	[事業名] 生成 AI を利用したレーザ平滑度測定装置開発とその測定データ解析による最適加工提案システムの構築			
5	企業名	㈱スペースクリエイション	交付確定額	9,900,000
	[成長 7 分野] 次世代輸送用機器関連事業			
	[事業名] 複合型高速回転コンパクト摩擦摩耗試験機の開発			
6	企業名	浜松ビジョンテクノロジー㈱	交付確定額	1,514,457
	[成長 7 分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] 緑内障・網膜疾患の遠隔 AI 診断システムの開発			
7	企業名	㈱eZOV インターナショナル	交付確定額	3,460,134
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 代表面積光触媒機能付きステンレスメッシュ「eZOV」による畜産業の臭いと感染症問題の同時解決			
8	企業名	㈱プログメイト	交付確定額	9,018,927
	[成長 7 分野] デジタル関連事業			
	[事業名] クロスプラットフォーム対応ビジュアルプログラミング言語の高度化および製品開発			
9	企業名	㈱ナユタ	交付確定額	10,000,000
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 医療機器用リチウムイオン蓄電装置(レムリア)の小型化製品「レムリア・ナノ」の開発			
10	企業名	S-Bridges㈱	交付確定額	10,000,000
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 茶葉葉脈関連製品の事業化に向けた分離技術の構築			
11	企業名	㈱Bubble&Flow	交付確定額	8,758,220
	[成長 7 分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] ファインバブル×フロー合成技術によって省エネ・省人化を実現する大型化学品製造装置の開発			
12	企業名	㈱カタナコーポレーション	交付確定額	9,913,987
	[成長 7 分野] デジタル関連事業			
	[事業名] 鉄道車両向けリアルタイム圧縮対応データ収集システムの開発			

13	企業名	(株)プロノハーツ	交付確定額	2,873,596
	[成長7分野] デジタル関連事業			
	[事業名] ドローン飛行経路追跡システムの開発			
合計				85,673,934

イ 9月補正予算事業費枠（市予算補助金総額 90,000 千円）

公募期間：【第1期】令和7年9月22日（月）～11月28日（金）

【第2期】令和7年12月4日（木）～2月16日（月）

事業期間：交付決定後～令和9年2月28日（日）

申請件数：【第1期】7件 【第2期】12件

採択件数：【第1期】7件 【第2期】7件

交付決定額：110,000,000円

交付確定額：－円

<交付決定企業一覧>

（単位：円）

1	企業名	(株)橋本螺子	交付決定額	5,974,020
	[成長7分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] 螺子ノウハウを活用した、ペットボトル開栓訓練器具及び、効果を可視化する周辺器具等の開発・製造・販売			
2	企業名	(株)えなみ農園	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] 新農業関連事業			
	[事業名] 中山間地域向け電動ラジコン草刈り機の開発			
3	企業名	(株)NOKIOO	交付決定額	3,578,037
	[成長7分野] デジタル関連事業			
	[事業名] 組織学習プラットフォーム構築技術「ManabiBase」の開発事業			
4	企業名	(株)オプトメカトロ	交付決定額	2,792,747
	[成長7分野] 光・電子関連事業			
	[事業名] 現場適用型の超小型、モバイル、インライン対応の光による成分分析装置の商品化			
5	企業名	橋本エンジニアリング(株)	交付決定額	9,900,000
	[成長7分野] 次世代輸送用機器関連事業			
	[事業名] 高齢者に優しい電動モビリティの開発			
6	企業名	(株)モノコミュニティ	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] デジタル関連事業			
	[事業名] BOM/BOP 基準によるモノづくり見える化システムの開発			
7	企業名	(株)防災 AI	交付決定額	4,000,000
	[成長7分野] ロボティクス関連事業			
	[事業名] 高濃度 H2S 環境対応型水中インフラ診断ドローンロボットの開発			
8	企業名	(株)エヌエスティ	交付決定額	9,018,927
	[成長7分野] 光・電子関連事業			
	[事業名] イーサネット及び指紋インポートアップロード対応指紋認証装置の開発			
9	企業名	鈴木織商(株)	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] 次世代輸送用機器関連事業			
	[事業名] 難燃素材と環境素材を用いた次世代自動車シート用生地の開発			

10	企業名	(株)ヤマザキ	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] 環境・エネルギー関連事業			
	[事業名] 処理能力向上型 遠心分離機開発			
11	企業名	(株)アールテック	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] AIで術中2D画像を即時3D化する脳血管手術支援システムの開発			
12	企業名	数村 公子(法人設立予定)	交付決定額	10,000,000
	[成長7分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] 極微量血で好中球活性が評価できる、世界初の好中球活性評価システムの試作開発			
13	企業名	パイフォトニクス(株)	交付決定額	9,913,987
	[成長7分野] デジタル関連事業			
	[事業名] 防水防塵型光パターン形成LED照明「ホロライト・プロ・シリーズ」の応用開発			
14	企業名	(株)Magic Shields	交付決定額	4,822,282
	[成長7分野] 健康・医療関連事業			
	[事業名] 高機能離床センサーマット開発			
合計			110,000,000	

(3) 浜松市海外展開事業化可能性調査費補助金（市予算：1,000千円）

浜松市内の中小企業に対し、海外販路開拓又は海外拠点設立に向けた事業可能性調査の経費の一部を助成するため、補助金の準備・審査業務と伴走支援業務を行った。

対象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2

補助額：上限1,000千円

対象経費：調査委託費用、相談費用、通訳・翻訳費用、テストマーケティング出展費用

ア 当初予算事業費枠（市予算補助金総額1,000千円）

公募期間：令和7年4月10日（木）～5月30日（金）

令和7年7月1日（火）～7月25日（金）

令和7年8月29日（金）～9月11日（木）

事業期間：交付決定後～令和8年2月28日（土）

申請件数：2件

採択件数：2件

交付決定額：1,000,000円

交付確定額：1,000,000円

<交付確定企業一覧>

(単位：円)

1	企業名	(株)カタナコーポレーション	交付決定額	500,000
	[事業名] リアルタイムロスレスデータ圧縮ソフトの欧米市場調査			
2	企業名	イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)	交付決定額	500,000
	[事業名] 電解式スケール除去装置の市場調査（タイ）			
合計			1,000,000	

イ 9月補正予算事業費枠（市予算補助金総額 1,000 千円）
 公募期間：令和 7 年 9 月 22 日（月）～令和 8 年 2 月 27 日（金）
 事業期間：交付決定後～令和 9 年 2 月 28 日（日）
 申請件数：2 件
 採択件数：2 件
 交付決定額：1,000,000 円
 交付確定額：－円

<交付決定企業一覧> (単位：円)

1	企業名	ソフトプレ工業(株)	交付決定額	500,000
	[事業名]	ガーデンファニチャーの OEM 先、現地倉庫・製造拠点物の調査		
2	企業名	(有)春華堂	交付確定額	500,000
	[事業名]	欧州フランス(コルシカ島)における和栗海外展開に向けた栗文化・ブランド・原料利用実態調査事業		
合計				1,000,000

20 浜松イノベーションリング事業

決算額 876,925 円 <浜松市受託>

【目的】

自社技術、社会課題、未来の技術やトレンドを起点にした新しいビジネスアイデアを構築するために、具体的な手法をワークショップ形式で学べる場の提供とデモディ（成果報告会）を行うことで、地域企業の市場性の高いビジネスプラン創出を支援する。

【年度総括】

本事業では、ビジネスアイデアの創出やビジネスプランのブラッシュアップを目的に、ワークショップやピッチイベント等を実施した。ワークショップ参加企業のうち、一部企業については定期的にフォローを行い、そのうちの 1 社についてはビジネスアイデアとして具体的な製品アイデアの立案まで進んだ。

また、地域企業がビジネスプランをブラッシュアップする取り組みとして、ピッチイベントを実施した。ピッチイベントでは、企業経営者や商社出身者、新規事業創出に関する有識者等をメンターとして招き、地域企業が行う新規事業のピッチに対し、検討すべき点や今後の取り組みの方向性等について、新規事業が加速するようアドバイスを行った。本イベントはアイデアをビジネスプランとしてブラッシュアップさせていくための貴重な機会となることから、次年度以降も新規事業の取り組みを具現化させるための支援として実施していく。

【実施内容】

(1) ビジネスプロデュース力養成セミナー

開催日：令和 7 年 6 月 6 日（金）

会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：(株)フォトニクス・イノベーションズ（広島県広島市） 江田 英雄 氏

内容：ビジネスを作り出していくための考え方、その方法についての解説

参加者：18 社 19 名（定員：25 名）

(2) 「アイディアソン+」ワークショップ（全 3 回）

開催日：令和7年6月12日（木）、26日（木）、7月11日（金）
 会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
 講師：元山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻
 特任教授（山形県山形市）宇佐美 健一 氏

内容：シーン・クリエイト法の実践
 自社新規事業アイデアのストーリー化・発表
 参加者：8社15名（定員：15名）
 ※希望者にフォローアップを実施

(3) 浜松イノベーションリング（新規事業メンタリング・ピッチ）

開催日：令和8年3月18日（水）
 会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
 メンター：企業経営者、商社関係者、金融機関関係者等6名
 内容：登壇者（地域企業）による新規事業ピッチ
 メンターからのコメント・ディスカッション
 参加者：4社

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
新規事業検討企業	一件	6件	5件

【利用者の声】

「ワークショップ及びフォローアップにより、新たな製品アイデアをつくることができた。また、ピッチでは『もてる技術の異分野への適用が今後の成長の鍵』など非常に貴重な意見をいただくことができたので、今後の開発、事業化に活かしていきたい。一連の活動で、新規製品アイデアを社内で共有できたことが大きな成果となった。」（新規事業メンタリング・ピッチ）＜輸送機器用精密部品加工＞

2.1 国内・国際標準化対応促進事業

決算額 655,720円 <浜松市受託>

【目的】

地域規格(JISQ、CE等)は、特定地域内で製品やサービスの安全性、品質及び性能を保証するために設定された基準であり、製品が市場に出る前に満たすべき一連の要件を提供し、納品先や消費者に対して安全で信頼性の高い製品であることを保証するものである。こうした地域規格を中小企業が体系的に理解できる機会を設けることで、中小企業の自社製品開発を促進する。

【年度総括】

JISQ9100 入門セミナーは、航空・宇宙産業参入に不可欠な JISQ9100 の基礎の理解を目的に、規格の概要、品質マネジメントの考え方、要求事項のポイントを分かりやすく解説した。参加企業は、自社の品質管理体制を見直す契機となり、今後の認証取得に向けた具体的な課題を把握できた。また、講師との質疑応答を通じて実務上の疑問が解消された企業の中には、講師所属機関による伴走支援に繋げることができた。今後も企業訪問等を通じて地域企業の航空・宇宙分野への挑戦を後押ししていく。

国際安全規格活用講座は、今後の世界市場を見据え、国内外で必須となる製品安全規制に対応できる人材の育成を図った。

【実施内容】

(1) JISQ9100 入門セミナー

開催日：令和7年11月21日（金）

会場：(公財)浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：①静岡県 航空宇宙コーディネータ（静岡市葵区）鈴木 哲生 氏
②一般財団法人日本品質保証機構（東京都千代田）松本 晃 氏
③株式会社エステック（清水町）代表取締役 鈴木 誠一 氏

内容：①市場動向と将来性
②JISQ9100 の概要とポイント、JISQ9100 の取得メリット・デメリット
③事例紹介（体験談）

受講料：[市内] 無料、[市外] 2,000 円（税込）

参加者：11 社 21 名

(2) 国際安全規格活用講座

開催日：令和7年10月2日（木）

会場：セミナー室

講師：ナカタニテクノマネージ技術事務所（埼玉県） 代表 中谷 二三男 氏

内容：各国の製品安全基準の動向、リスクアセスメント など

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円（税込）

参加者：[市内] 2 社 4 名、[市外] 2 社 4 名

【利用者の声】

「顧客の要求事項への理解を深めることができた。また、取得のメリットについて知ることができた。社内で認証取得に向けて検討したい。」(JISQ9100 入門セミナー) <表面処理加工>

「JISQ9100 のメリット、デメリット、取得のための考え方などが理解でき、社内における検討の材料となった。」(JISQ9100 入門セミナー) <輸送機器用精密部品加工>

2.2 新事業創出資金調達促進事業

決算額 32,041,233 円 <財団自主>

【目的】

浜松市内企業の基幹産業である自動車部品の電動化の進展に伴うエンジン部品製造など中小企業のビジネス減少に対応するため、中小企業には「既存事業の深化」と「新規事業開発（探索）」が求められている。一方、こうした活動には5～10年の期間と多額の資金が必要となることから、財団では、令和7年度から中小企業の新たな活動に必要な資金調達（債務保証・交付金）を支援する。

【年度総括】

4月と8月の2回、募集を行い4社を採択した。融資実行及び交付金交付決定を行った。採択後は、採択企業及び融資機関、財団の3者が一体となり円滑な事業進捗を図るため四半期に1回、進捗会議を開催した。

【実施内容】

(1) 概要

ア 債務保証

融資額(債務保証額) 上限 3,750 万円(3,000 万円)
下限 1,250 万円(1,000 万円)

イ 交付金

交付金額 最大 2,000 万円
最小 1,250 万円

(2) 1次募集

期 間：4月14日～4月30日

申 請 数：1社

採 択 数：1社

採択企業：イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)

テ ー マ：切削現場環境改善に寄与する切削液殺菌用電解装置の事業化

融資機関：浜松いわた信用金庫

(3) 2次募集

期 間：8月25日～11月21日

申 請 数：3社

採 択 数：3社

採択企業：(株)アルモニクス

テ ー マ：点群データから断面ベースで土木構造物を自動生成するモデリング
技術の開発

融資機関：浜松いわた信用金庫

採択企業：(株)カタナコーポレーション

テ ー マ：高速信号計測向けロスレスデータ圧縮システムの開発および販路開拓

融資機関：浜松いわた信用金庫

採択企業：浜松貿易(株)

テ ー マ：地域スマートファクトリー化の促進に向けた AMR 開発事業

融資機関：(株)静岡銀行

【利用者の声】

「本制度の活用により、資金面での安定が図れることで技術開発やマーケティングなど、次のステージへ着実に進めている。特に中長期的な資金調達制度は、当社の新規事業展開を支える大きな追い風になる。」<水質改善装置製造>

2.3 競争的資金活用支援事業

決算額 63,479,053 円 <県補助・8市町負担金・国補助・県補助>

【目的】

地域の中小企業が行う新技術の開発や経営基盤の強化等に向けた取組を、国や県、市町等の補助金を活用することで一層促進する。

【年度総括】

事業管理機関として採択実績のある経済産業省「Go-Tech 事業」に加えて、令和7年度は新たに静岡県「次世代産業関連プロジェクト等革新技術創出補助金(次世代関連PJ補助金)」(通称：静岡県版 Go-Tech)に採択されるなど、地域の研究開発型企業の競争的資金獲得に実績を上げた。さらに令和8年度の Go-Tech 事業等の新規申

請に向け、申請希望企業への伴走支援を実施した。

【実施内容】

既存産業の高度化・高付加価値化を図り、成長産業分野参入に向け、中小企業が実施する新技術開発や経営基盤強化のため、国をはじめとした各種競争的資金の獲得、運用等を支援した。

また、補助金獲得セミナーの開催をはじめ、支援情報の収集や提供、個別相談を行うとともに、競争的資金獲得に向け、技術課題の明確化や解決方法の探索を伴走支援し、補助金獲得に伴う研究開発やイノベーションへの取り組みを後押しした。

(1) 競争的資金活用支援

① 補助金獲得支援セミナー

開催日：令和7年4月17日（木）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：令和7年度の経済産業省・県・市・支援機関等の補助金制度紹介

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：79 社 107 名（定員：100 名）

② 競争的資金の活用企業の掘り起こしと申請支援

ア 研究開発型補助金活用促進セミナー

開催日：令和7年12月15日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：Go-Tech 事業を中心とした研究開発型の補助金制度紹介

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：15 社 26 名（定員：50 名）

イ イノベーションアクション支援（競争的資金獲得伴走支援）

期 間：令和7年4月～令和8年3月

内 容：地域中小企業の技術課題の明確化や解決方法の探索を目的に、新事業展開や新製品開発に向けた補助金獲得等を伴走支援する。

支援企業：[県西部地域] 2 社

芝原工業(株)（磐田市）、(株)ゾディアック（浜松市中央区）

(2) 成長型中小企業等研究開発支援事業（経産省・Go-Tech 事業）等の事業管理

Go-Tech 事業及び県次世代産業関連プロジェクト革新技術創出補助金（次世代産業関連 PJ 補助金）の事業管理機関として、地域の中小製造業の研究開発案件の進捗管理を行うことで、事業の進捗を図る。

・事業管理機関としての支援（令和7年度）

（単位：千円）

	Go-Tech 事業	次世代関連 PJ	合計
交付申請額	44,038	20,500	64,538
交付決定額	44,038	20,500	64,538
交付確定額	43,771	18,351	62,122

ア Go-Tech 事業（経済産業省）

主たる研究実施機関：榎本工業(株)（浜松市浜名区）

技術案件：放電加工による微細穴あけとミーリング加工のハイブリット化

実施機関：榎本工業(株)、静岡理科大学

実施期間：令和6年度～令和8年度 <2年目>

イ 次世代産業関連プロジェクト補助金（静岡県）

主たる研究実施機関：(株)ゾディアック（浜松市中央区）

技術案件：配管インフラ保守作業の精度と効率を飛躍的に向上させるデジタル3D野帳システムの開発

実施機関：(株)ゾディアック、東京大学、一橋大学

実施期間：令和7年度～令和8年度 <1年目>

(3) 他の行政・地域支援機関等と連携支援

国や県をはじめとした、他の行政・地域支援機関等との連携を行い、地域中小企業に役立つ補助金情報を周知し、申請支援を実施する。

<各種補助金新規申請支援>

- ・個別相談：17社17件
- ・申請支援：4社4件

<申請採択事例>

- ・静岡県次世代産業関連プロジェクト等革新技术創出補助金：(株)ゾディアック
- ・浜松市新産業創出事業費補助金：(株)ドローンセンセーション
- ・浜松市新事業挑戦事業費補助金：(株)エイ・エム・シー、(有)太悦鉄工

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
研究開発型補助金申請件数	3件	4件	3件

【利用者の声】

「今後の新規事業展開とその開発費用を補助金活用するイメージが把握できた。」（研究開発型補助金活用促進セミナー）<計測制御装置設計・製造・販売>

2.4 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 505,500円 <財団自主>

【目的】

浜松地域の高い技術力と医療・看護現場のニーズ・医学シーズの異分野融合により、健康・医療産業の事業化を推進し、はままつ医工連携拠点を中心に産学官金の強固な連携や地域企業同士の連携による連鎖的・継続的なイノベーションの創出を目指す。

【年度総括】

当財団が連携機関として参画する「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点（医工連携拠点）」において、事業運営委員会で決定された事業計画に基づいて実施される各種事業に協力するとともに、定期的に開催される医工連携拠点ワーキング会議に参加し、情報共有及び関係機関との連携を通じて企業間マッチングの促進を図った。

また、今年度から開始した「看工連携事業」においては、看工連携（看護×工学）の周知を目的としたセミナーを行うとともに、病院及び看護師のニーズ収集を実施し、6件のニーズに対してコンセプトシートをまとめた。今後コンセプトシートに基づく製品開発に向けて、地域企業とのマッチングを実施していく。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活

動計画を実現するため、連携支援機関の一つとして拠点の活動に参画した。また、看護現場ニーズの具現化を図るため、地域の病院と地域中小企業との連携促進を図った。

(1)はままつ医工連携拠点

ア 事業運営委員会

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の事業計画を審議、決定した。

開催日：令和7年5月30日（金）、令和8年3月23日（月）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

参加者：浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、静岡県、浜松市 他

イ 医工連携ワーキング会議

産学官の関係機関が連携し、事業運営委員会で決定された各種事業の進捗状況等の共有を図った。

開催日：令和7年5月20日（火）、7月15日（火）、9月16日（火）、11月18日（火）、令和8年1月20日（火）、3月10日（火）

会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟

参加者：浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、静岡県、浜松市 他

ウ 医工連携スタートアップ支援事業

医療や介護現場の課題及びニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するため、事業化可能性の高いアイデアを有する中小企業に対して、本格的な研究開発に向けた「アイデアの実現性の検証」を委託し、医工連携のスタートアップを支援した。

公募期間：令和7年5月1日（木）～5月30日（金）

対 象：静岡県内の中小企業

委 託 費：1 課題あたり 100 万円以内

事業期間：採択～令和8年1月末日

申請件数：8 件

採択件数：5 件

エ 展示商談会への出展

医療機器分野への参入を目指す静岡県内の中小企業が共同出展することで、単独では困難な人員の確保や新分野への PR を拠点が中心となりマッチングを支援した。

(ア) Medtec Japan 2025（医療機器の設計・製造に関する展示会）

開催日：令和7年4月9日（水）～11日（金）

会 場：東京ビッグサイト

出展社：478 社

来場者：17,261 名（3 日間）

出展支援企業：6 社

※うち市内企業4社：沢根スプリング(株)、(株)カタナコーポレーション、ソフトワークス(株)、(株)TRINC

(イ) Japan Health（医療機器・ヘルスケア関連製品の国際見本市）

開催日：令和6年6月25日（水）～27日（木）

会 場：インテックス大阪

出展社：425社／団体

来場者：9,516名（2日間）

製品展示：2社（㈱はままつメディカルソリューションズ、橋本螺子㈱）

(ウ) 第18回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2024

開催日：令和7年7月23日（水）～24日（木）

会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内容：本イベント内に「はままつ医工連携拠点」のブースを設置し、地域内外の来場企業に対して拠点をPR

(エ) 富士山麓産学官金連携フォーラム

開催日：令和7年11月27日（木）

会場：プラサヴェルデ（沼津市）多目的ホール、市民ホール

内容：本イベント内に「はままつ医工連携拠点」のブースを設置し、来場企業に対して拠点をPR

(オ) メディカルメッセ 2026

開催日：令和8年3月16日（月）～17日（火）

会場：名古屋 STATION Ai（愛知県）大会議室

内容：本イベント内に「はままつ医工連携拠点」のブースを設置し、来場企業に対して拠点をPR

オ その他

企業と医療現場との情報交換会、医療・介護現場見学会、学術研究会・勉強会 等

(2) 看工連携事業

ア 看工連携セミナー

開催日：令和7年5月16日（金）

会場：FUSE イベントスペース

内容：①先進事例紹介

（公財）大田区産業振興協会（東京都大田区） 産業支援部 宍戸 裕 氏

②地域企業取組事例

㈱クラブ 企画課 伊藤 千加良 氏

受講料：無料 ※県西部地域外は1,000円（税込）

参加者：44名（会場35名、オンライン9名）

イ 看護現場ニーズヒアリング

平安の森記念病院 33件（うち6件のニーズについて実現化検討）

2.5 地域産業活性化支援事業

決算額 1,323,471円 <財団自主>

【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域（静岡県西部）の地域経済の発展に寄与することを目的とする。

【年度総括】

浜松地域の経済発展に向けて、浜松市海外経済交流推進事業への運営サポートや負担金の拠出等を行い、参画機関等と連携しながら地域企業の支援を行った。また、商社出身で販路開拓のコンサルタントと地域企業を訪問し、企業の強みや事業展開すべ

き分野等について助言を行った。

関東経済産業局主催「産学連携をともに議論する場」事業では1社のエントリー支援から大学関係者との面談フォローまでを伴走で支援した。

今後も地域企業に役立つ情報収集等を通じて、地域経済に寄与する事業を検討する。

【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する市受託事業や他事業などを補完する施策を実施した。

(1) 浜松地域（静岡県西部）の産業経済の発展に寄与する事業

ア 海外経済交流推進事業（協議会副会長：事業推進部長）

浜松市、JETRO 浜松、浜松商工会議所等と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に参画するとともに、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出：100千円
- ・海外経済交流推進協議会：令和7年4月21日（月）
- ・海外ビジネスセミナー（タイ・ベトナム・インドネシア）
- ・MOUを締結しているベトナム計画投資省との意見交換会 など

イ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新たな取組を実施するとともに、関係機関との連携を図った。

関東経済産業局が実施している「産学連携前に共に議論し合う場事業」に対し地域サポート機関として情報提供を受けて複数の大学の産学連携担当者と意見交換を希望する地域企業の掘り起こしを行った。1社

(2) トライアル事業

商社出身で販路開拓に強みを持つコンサルタントと地域企業に同行訪問し、企業の技術や商品の強みや販路開拓に対して助言した。6社

【利用者の声】

「実証データ等のエビデンスを取りたいが自社では対応できず困っていた際に本事業の紹介を受け参加することになった。結果として、関東地域の3大学との面談の機会を得ることができ、引き続き、課題解決に取り組んでいく。」（産学連携前に共に議論し合う場事業）＜金属加工機械卸売業＞

2.6 フォトンバレーセンター事業

決算額 97,533,076円 <県・8市町負担金>

決算額 42,149,612円 <A-SAP 特定資産>

決算額 773,000円 <企業負担金>

【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

【年度総括】

「コーディネート事業」では、光・電子技術の活用により、中小企業の技術的課題の解決を支援するため、技術コーディネーターを中心に347社、876件の相談に対応し、当センターの支援策を紹介するほか、各支援機関への橋渡しを行った。

県西部8市町で開催した「参入啓発セミナー」では、主にAIをテーマに開催し、全体で159社、延べ596名の参加があった。各セミナーに実演デモを取り入れることで、参加者の理解促進を図るとともに、新技術の導入促進につながるよう取り組んだ。

また、「ひかり塾」を西部の浜松市・磐田市、中部の静岡市、東部の沼津市と県内全域で開催し65名の参加があった。金融機関や産業支援機関等のマッチング人材の養成を進め、光・電子技術の支援の裾野拡大に取り組んだ。

「展示会出展支援」では、4月にフォトンクス分野の国際的な展示会である「OPIE'25 レーザーEXPO」（横浜市）に県内中小企業7社と共同出展し、各社の新製品や新技術の販路拡大を支援した。

「世界的ネットワーク構築支援事業」では、6月にドイツで開催された「Laser World of Photonics」にJETRO浜松と共同出展し、県内中小企業2社も参加した。製品の紹介やニーズ調査、現地機関との産業交流を通じて、海外展開に向けた基盤形成を進めた。

「A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業」については、令和7年度予算として第24期から第27期の募集を行った。計26件の申請のうち12件を対象に、大学等研究機関や金融機関と連携して中小企業の技術的課題の解決を支援した。

引き続き、技術コーディネーターを中心に各案件の事業化に向けたフォローアップを実施していく。

【実施内容】

フォトンバレーセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、既存産業の高度化、生産性向上及び新産業の育成を図った。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

(1) ビジネスマッチング事業

ア コーディネート事業

・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
5	631	112	9	2	4	113	876

・技術分野別件数

光・電子	次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	その他	合計
478	11	71	54	3	31	8	80	1	13	126	876

・地区別支援企業数

西部								中部	東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町				
133	22	8	8	6	1	6	2	50	27	84	347

イ 参入啓発セミナー

これまで光・電子技術を活用したことがない企業に対し、その有用性を理解しても

らい、企業における既存産業の課題解決及び新規事業展開等に関するセミナーを行った。

- ・ [浜松市] 実用化が進む環境に優しいレーザー技術
開催日：令和7年11月10日（月）
会 場：浜松工業技術支援センター
講 師：常盤産業株式会社 奥田 真衣 氏
武蔵ワイヤード株式会社 外山 達志 氏
株式会社ニデック 阿部 功児 氏
内 容：環境負荷、消費電力を低減したレーザー技術の紹介
参加者：17社29名（定員50名）
- ・ [磐田市] AI技術活用による社内業務効率化のすすめ
開催日：令和7年11月7日（金）
会 場：アミューズ豊田 ゆやホール
講 師：(一社)インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
渡邊 嘉彦 氏
内 容：製造業におけるAI活用術
参加者：35社85名（定員70名）
- ・ [掛川市] 製造業向け生成AI活用セミナー
開催日：令和7年11月13日（木）
会 場：掛川商工会議所
講 師：株式会社ファースト・オートメーション（名古屋市）伊藤 雅也 氏
内 容：生成AIで製造業の未来を切り拓く
参加者：20社28名（定員30名）
- ・ [袋井市] 生成AIの活用方法を学ぶ
開催日：令和7年9月29日（月）
会 場：コワーキングスペース BIRDS
講 師：株式会社アイエンター（東京都渋谷区）高馬 宏典 氏
内 容：生成AIの基礎知識、生成AI実演・活用術
参加者：23社26名（定員30名）
- ・ [湖西市] 事業者向けドローン活用講座
開催日：令和7年10月28日（火）
会 場：湖西運動公園、湖西地域職業訓練センター
講 師：株式会社ホバリング 山田 英幸 氏
内 容：ドローン飛行実演、事業者向け活用講座
参加者：31社42名（定員30名）
- ・ [御前崎市] 御前崎市大産業まつりでのフォトンバレーセンター事業紹介
開催日：令和7年11月22日（土）23日（日）
会 場：御前崎市役所
協 力：YK コラボ株式会社 河合 良浩 氏
内 容：フォトンバレーセンター事業（A-SAP、補助金等）紹介
光・電子技術を活用したレクリエーション機器等の紹介・デモ
参加者：340名（土日合計）
※御前崎市からの要請により、イベントへの出展・事業紹介を実施

- ・ [菊川市] 協働ロボットの活用とその可能性
開催日：令和8年1月30日（金）
会 場：菊川市商工会館
講 師：株式会社 Japan IT Produce 長谷川 徹 氏
株式会社ナカジマテック 佐藤 拓哉 氏
内 容：協働ロボットの活用方法とその実演
参加者：15社23名（定員30名）
- ・ [森町] 現場を変える画像解析・AI技術
開催日：令和8年2月5日（木）
会 場：森町総合体育館 森アリーナ
講 師：株式会社ガゾウ 金田 篤幸 氏
内 容：作業現場での動作分析・画像分析、体験デモ
参加者：18社23名（定員30名）

ウ ひかり塾

中小企業の技術的課題と光・電子技術とのマッチングを行える人材の養成を目的として、企業、金融機関や産業支援機関、行政などの人材を対象に、光の初歩的な知識や応用に関するワークショップを行った。

日程		対象	参加者
第1回	5月29日(木)	浜松地域の産学官金関係団体・行政・企業	16名
第2回	10月29日(水)	静岡産業大学経営学部学生・一般社会人・教員	19名
第3回	11月25日(火)	静岡地域の産学官金関係団体・企業	16名
第4回	12月10日(水)	沼津地域の産学官金関係団体・企業	14名
合 計			65名

(2) 産学官金連携事業

ア 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
4月23日（水）～25日（金） （パシフィコ横浜）	OPIE'25 レーザーEXPO	7社
出展支援企業		
ソフトウェアス(株)、パイフォトニクス(株)、(株)浜松クオンタム、パルステック工業(株)、(株)分光応用技術研究所、GEE(株)、ノブオ電子(株)		
来場者数	15,658名 ※主催者報告数字	

イ 広報発信事業

① 広報媒体の作成及び運用

- ・パンフレット
- ・ホームページ
- ・キラピカマップ

光の基礎知識が分かる児童～小学生高学年から中学生向けの紙ツール

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展した。

・TECH BEAT Shizuoka 2025

開催日：令和7年7月24日（木）～26（金）

会場：グランシップ

主催：TECH BEAT Shizuoka 実行委員会

内容：県の次世代産業関連プロジェクトとスタートアップとの連携強化を図る取り組み。県の次世代産業関連プロジェクト紹介会場内にブースを設け、来場者へ本センターの実績や活動内容を紹介

来場者：10,125名

・第15回 産業振興フェア in いわた

開催日：令和7年11月7日（金）～8日（土）

会場：アミューズ豊田

主催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。フォトンバレーセンターは本展示会にブースを設け、光・電子技術の活用性などを来場者にPRする。

共同出展：株式会社浜松パルス、株式会社YK コラボ

出展数：190社

来場者：7,600名

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

画像検索等をテーマに、すでに光・電子技術を取り入れているものづくり企業向けにセミナーを行った。

・第1回 目視による外観検査ミニワークショップ

開催日：令和7年7月31日（木）

会場：グランドホテル浜松

講師：香川大学名誉教授 石井 明 氏

内容：目視検査方法指導と照明機器・環境整備方法の実践

参加者：28社44名（定員：40名）

・第2回 AI+ロボティクス ～AIとロボティクスが共に働く未来～

開催日：令和7年12月19日（金）

会場：静岡理工科大学

講師：株式会社デンソー 成迫 剛志 氏、株式会社長倉製作所 長倉 裕輔 氏

内容：生成AIとロボティクスの可能性と事例紹介、協働ロボットの体験会

参加者：25社29名（定員：40名）

エ 健康機器分野新規参入・薬機法関連セミナー

※はままつ医工連携拠点と共同開催

医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナーを行った。

<はままつメディカル塾>

講師：浜松地域新産業創出会議 永田 靖 氏

・第1回

開催日：令和7年10月6日（月）

会 場：浜松商工会議所
参加者：19社 23名（定員：40名）

・第2回

開催日：令和7年10月20日（月）

会 場：浜松商工会議所

参加者：12社 15名（定員：40名）

・第3回

開催日：令和7年11月10日（月）

会 場：浜松商工会議所

参加者：11社 16名（定員：40名）

・第4回

開催日：令和7年12月1日（月）

会 場：浜松商工会議所

参加者：13社 16名（定員：40名）

・第5回

開催日：令和7年12月15日（月）

会 場：浜松商工会議所

参加者：12社 15名（定員：40名）

オ ひかりと遊ぼう「キラピカラボ 2025」 ※2部制

子どもたちが光に興味を持ち、理解を深めることで、将来的に光を活用したものづくりに携わる人材を育成するイベントを行った。

開催日：令和7年8月8日（金）①10：00～、②14：00～

会 場：静岡大学 浜松キャンパス内 佐鳴会館

講 師：サイエンスデイズ株 林田 亮 氏

内 容：光を使った実験で楽しく学ぶワークショップ

（光るスライム作り・偏光シート・光の観察 など）

参加者：①11家族 27名（定員：12家族）

②12家族 33名（定員：12家族）

カ ハイスクールひかり塾

将来の地域経済を担う高校生が光・電子技術の魅力に触れて関心を深め、進路選択の参考となる講座を開催した。

日程	対象	参加者
12月12日(金)	浜松工業高校 電気科2年生	41名
12月12日(金)	浜松工業高校 理数工学科2年生	29名
合計		70名

(3) 光・電子技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を活用し、製品開発に向けた試作品の製作や基幹部品の開発に対する補助事業を行った。

ア 光・電子活用チャレンジ事業費補助金（予算：5,000千円）

公募期間：令和7年4月1日（火）～4月30日（水）

対象事業：光・電子技術を活用した製品、製品化に向けた試作品及び基幹部品の製作又は光・電子技術を活用した製品の市場導入に向けて実施する評価・試験、改良を行う事業

補助率：1/2

補助額：上限 2,000 千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託・評価分析費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

事業期間：交付決定日～令和 8 年 2 月 28 日（土）

申請件数：4 件

採択件数：3 件

交付決定額：5,500 千円（3 件）

交付確定額：3,777 千円（3 件）

< 交付企業一覧 >

（単位：円）

	企業名		交付確定額	
1	静岡県製機株式会社（袋井市）		2,000,000	
	[事業名] 反射型光学系を搭載した農産物分析装置のプロトタイプ機の開発			
	[成果と今後] 反射型光学系を搭載した農産物分析装置のプロトタイプ機を完成させた。今回、新規開発した反射型光学系および再設計した分光器には、機械学習アルゴリズム（SVM+グリッドサーチ）を用いた高精度な検量線作成手法を組み合わせることで、測定性能を大幅に向上させた。今後、多品種・多形状の農産物への対応するための検量線の開発や製品化に向けた性能評価試験等を進めていく。			
2	浜松ビジョンテクノロジー株式会社（浜松市中央区）		277,000	
	[事業名] 点眼電子管理サポート機能付きケースの研究開発			
	[成果と今後] 点眼電子管理サポート機能付きケースを研究開発し、専門医や患者にヒアリングを行い、プロトタイプ機を完成させた。最終的に開発したプロトタイプ機では、ケース単体で機能するように設計し、点眼時刻にアラームやサウンドでお知らせする機能などを付与することとした。今後、製品化に向け、さらなるヒアリングや開発を進めていく。			
3	イメージテック株式会社（浜松市中央区）		1,500,000	
	[事業名] 耐環境性に優れた X 線ラインセンサカメラシステムの原理検証			
	[成果と今後] ゴミ収集車（パッカー車）に搭載可能とする X 線検査装置の原理検証システムの構築を目指し、検証項目（耐熱性、耐振性、防塵防水性、超小型化）を考慮した各機器の設計・試作を実施。システムを構築する機器のうち、X 線発生機については筐体設計が完了し、X 線ラインセンサカメラシステムについては、試作機筐体が完成した。今後、本事業の成果より検証システムを構築し、ゴミ収集車（パッカー車）に搭載するために最適な X 線検査装置の開発を図る。			
合計			3,777,000	

(4) 世界的ネットワーク構築支援事業

海外の支援機関と連携し、地域企業の海外展開を支援する。また JETRO や他の支援機関と共同で海外展示会に出展し、地域企業の PR を行った。

- ・海外産業支援機関との連携
- ・台湾・中華経済研究院来所対応 令和 7 年 4 月 17 日
- ・ドイツ「Laser world of photonics」出展 令和 7 年 6 月 24 日～27 日

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援した。

- 対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作
 (2) 新製品・サービスの開発に向けた設計
 (3) その他センターが認めるもの

委託金額：1プロジェクトあたり上限500万円（6ヶ月）

・第21期

募集期間：令和5年11月16日（木）～令和6年2月29日（木）

申請件数：5社6件

採択件数：2社2件（採択3件、うち1件辞退）

事業期間：令和6年8月1日（木）～令和7年1月31日（金）

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	(株)エヌエスティー（浜松市中央区）	委託額	4,998,500
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	食品加工機械安全装置無線化技術開発		
	[成果と今後]	食品加工機械（バンドソー）作業者の指先等の切断の危険回避のため、既存の有線安全装置の無線化を試みた。作業者が装着する無線センサデバイス、無線通信によりバンドソーに停止信号を出す制御デバイス、安定的な電波伝搬を確保するアンテナを開発。無線通信にはセンサデバイス側に電源を必要としないバックスキャッタ通信を採用。現場実証実験により、接触信号が無線にて検知できることを確認した。実用化に向けての課題（応答速度、装着検知確度）についても対策案を提示した。成果動画公開中。		
2	企業名	(株)ルーツ（袋井市）	委託額	5,000,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	コナジラミを対象とした光誘引駆除機の開発		
	[成果と今後]	CFDを用いた数値シミュレーションにより、コナジラミ吸引器の最適設計を実施し、特に、吸引力、スリット幅、装置形状および光源特性が吸引性能に与える影響を詳細に解析し、当初目標仕様とした高風速吸引とは異なるアプローチにより、エネルギーコスト・製作コストの削減、軽量化・小型化、実用性の向上を重視した低風速設計に適した新たな吸引メカニズムを確立した。特に、スリット部での流速発達を活用することで、低風速でも十分な捕獲性能を発揮できる低エネルギー消費・コンパクト設計が可能であることを示した。成果動画公開中。		
合計			9,998,500	

・第22期

募集期間：令和6年3月1日（金）～5月31日（金）

申請件数：12社12件

採択件数：5社5件（採択6件、うち1件辞退）

事業期間：令和6年10月2日（木）～令和7年4月30日（水）

1	企業名	アルフレッド株式会社 （浜松市中央区）	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		

	[プロジェクト名] AI 画像診断によるアスベスト含有判定プログラムの開発			
	[成果と今後] 偏光顕微鏡画像に含まれるアスベスト繊維の種類と位置を自動検出する AI モデル、および実際に収集された多数の偏光顕微鏡画像を用いてそれを訓練・評価するためのプログラムを開発した。画像中にアスベスト繊維が含まれる場合は、その領域を囲う矩形を表示することで位置を示し、予測したアスベストの種類をその矩形に併記して表示できるようにした。訓練に用いる画像を改善するなどの工夫の結果、検出精度（再現率）は 0.97、位置の精度（IoU）は平均 0.76（完全一致=1.0）を達成し、実用上問題なく分析が行えることを確認した。 成果動画公開中。			
2	企業名	静岡製機株式会社（袋井市）	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 光触媒を活用した加湿器のバイオフィルムと悪臭の除去			
	[成果と今後] 業務用気化式加湿器に光触媒技術を導入して菌やバクテリアの発生を抑制することを目的として、メッシュ上に光触媒をコーティングした試料を複数試作。各試料の光触媒活性の事前評価から、もっとも高い活性かつ安定した性能を示した 1 種を選定して光触媒活用装置の設計と試作を行った。光触媒搭載かつ紫外線照射加湿器ほか仕様の異なる加湿器 3 台について実用環境下で 2 か月間、放出臭気レベルおよび内部循環水の状態をモニタリングしてその測定結果を解析、光触媒搭載による臭気上昇抑制および内部循環水の汚染抑制の可能性を確認した。 成果動画公開中。			
3	企業名	株式会社アーミス（浜松市中央区）	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 太陽光パネル最適電圧制御器の開発			
	[成果と今後] リユース可能な廃棄太陽光パネルを用いた太陽光発電システムにおいて、システム全体の発電効率を向上するために、廃棄パネル個々の発電効率を最大化したうえでパワーコンディショナに電力を供給できる「太陽光パネル最適電圧制御器：PVOC」を設計・開発。電力変換器の構成部品には、低ノイズ・低損失化を目的に SiC-MOSFET と SiC-diode を単一のパッケージに収めた独自のパワーモジュールを用い、最大電力点追従動作を実現する制御アルゴリズムと PVOC の起動、停止を含むシーケンス制御を構築。実験検証により基本動作を確認した。 成果動画公開中。			
4	企業名	ユニオプト株式会社（静岡市葵区）	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	宇都宮大学		
	[プロジェクト名] リアルタイム測定のための超高速偏光計測法の開発			
	[成果と今後] ディスプレイの製造工程など、成膜される薄膜の均一性が表示品位を左右する製品の全量検査に必須となる超高速偏光計測法の実現のため、超広帯域レーザ光源の発信周波数を 40MHz に設定し、長尺光ファイバー（1km）で決まる波長分散により時間軸に紐づけられた波長、偏光状態を超高速で繰り返すことにより 25 ナノ秒間隔のスペクトル記録を可能にする光学系を構築。多波長測定に対応する偏光解析法による評価を可能にする Python プログラムも提示した。			

	成果動画公開中。		
5	企業名	株式会社エヌエステー (浜松市中央区)	委託額 4,956,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学	
	[プロジェクト名]	高齢者の低負担安定歩行を実現する装着型支援具の開発	
	[成果と今後]	従来の歩行支援装置は「足を元気よく前に振り出して踵から着地する」歩行を目指したもので、体への負担が大きく高齢者には適さなかった。今回開発、試作した支援装置によると「プライマリーウォーキング」と呼ばれる、脚が振り子のように自然に前に振り出される新しい歩行理論による負担の少ない歩き方を身につけることができる。モータを使わずワイヤとプーリを組み合わせたシンプルな機構による軽量の支援装置により、目標とした歩行改善を達成し、負荷調整機能、スマートホン等による歩数などのリアルタイム計測と見守り機能も実装できた。 成果動画公開中。	
合計			24,860,000

・第23期

募集期間：令和6年6月1日（土）～8月31日（金）

申請件数：7社7件

採択件数：4社4件

事業期間：令和6年12月26日（木）～令和7年7月31日（木）

1	企業名	イノベティブ・デザイン&テクノロジー株式会社 (浜松市浜名区)	委託額 4,984,000
	プロジェクトリーダー	秋田県立大学	
	[プロジェクト名]	AI活用した食生活対応の清酒バリエーション装置開発	
	[成果と今後]	料理や嗜好に合わせて酒質を変えることが出来る装置の開発に寄与する電気分解による酒質の変化量や変化物質の特定を試み、清酒の甘辛味の指標である「日本酒度」と有機酸とアミノ酸の含有量の指標である「酸度」の変化と味覚センサーによる情報から電気分解による呈味の変化が示されることを明らかにした。また、多数のパネラーによる官能試験結果および機器分析の結果からオリジナル日本酒味わいチャートを作成し、未処理酒の日本酒度および酸度から電気分解による酒質変化をAIで予測し、目的の清酒を作ることが可能となることを示した。 成果動画公開中。	
2	企業名	株式会社TAKシステムイニシアティブ (浜松市浜名区)	委託額 4,998,500
	プロジェクトリーダー	神戸大学	
	[プロジェクト名]	色素性乾皮症患者の曝露紫外線量を評価する強度計開発	
	[成果と今後]	紫外線に特異的な感度を持つ光電子増倍管を搭載した紫外線透過率測定器を作成して、XP患者用装着型紫外線強度計に必要な感度仕様を算定。UVC・UVB・UVAに感度を持つ市販高感度紫外線センサーを用いて、頸部に取り付け可能なサイズの装着型紫外線強度計試作機を作	

	<p>製。XP 患者の紫外線対策で起こり得る状況を想定した、使用状況を正確に把握するためのアラート機能、アラート停止時の状況を確認する機能を搭載した受信ソフトも作成して、紫外線防護衣類装着によるアラート回数、曝露紫外線強度、累積曝露紫外線量の測定機能検証を実施した。成果動画公開中。</p>			
3	企業名	株式会社カタナコーポレーション (浜松市浜名区)	委託額	4,920,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] AI 向け 3DX 線 CT 画像の圧縮に関する検証			
	<p>[成果と今後] 臨床用 CT データおよび試作ファントムによる画像データを用いて、RAW データ (可逆圧縮) および JPEG 圧縮データ (非可逆圧縮) の各種圧縮率におけるデータ品質の違いが、AI による画像セグメンテーションに与える影響について定量的に評価した。非可逆データの圧縮率が高まる (品質が低下する) につれて、AI によるセグメンテーション精度が低下することが視覚的にも、定量的にも確認された。依頼企業の可逆圧縮により約 60% データ削減が可能であり、可逆圧縮で保存された画像が解析用途で有効であるとの見解を医療専門家から得た。成果動画公開中。</p>			
4	企業名	株式会社フジヤマ (浜松市中央区)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 高精度測位衛星を用いた斜面崩壊監視システムの開発			
	<p>[成果と今後] 高精度衛星測位 (GNSS) を活用した地表変位観測システムを用いて、費用対効果の高い斜面崩壊検知サービスを事業化するために、観測装置としての GNSS 受信機による地表変位の観測、そのデータをもとにクラウドコンピューティング環境で測位演算するシステムの設計と実装を行い、変位をウェブブラウザによって表示できることを確認した。計測精度は 6 時間集約で 2.1mm と、目標を上回る精度を達成し、システムとしての安定稼働も実証できた。さらに、精度確保に必要な観測環境条件 (天空率) についても今後の展開に有益な知見を提供できた。成果動画公開中。</p>			
合計			19,894,500	

・第 24 期

募集期間：令和 6 年 9 月 1 日 (日) ～令和 6 年 11 月 15 日 (金)

申請件数：9 社 9 件

採択件数：7 社 7 件 (1 社 1 件辞退)

事業期間：令和 7 年 4 月 17 日 (木) ～令和 7 年 10 月 31 日 (金)

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	大恵(株) (磐田市)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	浜松工業技術支援センター		
	[プロジェクト名] レーザー溶融方式金属 3D プリンタによる樹脂用金型の検討			
[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中				
2	企業名	(株)オリエンテック (富士市)	委託額	4,999,200
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名] 3D-LiDAR を活用した車両検知制度の工場			

	[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中			
3	企業名	バスリエ(株) (裾野市)	委託額	4,999,800
	プロジェクトリーダー	静岡理科大学		
	[プロジェクト名]	スポーツ支援のための筋組織粘弾性計測システムの開発		
	[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中			
4	企業名	曾根バラ園 (島田市)	委託額	4,999,860
	プロジェクトリーダー	静岡県立農林環境専門職大学		
	[プロジェクト名]	バラの生産性向上に向けた LED 補光最適環境制御		
	[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中			
5	企業名	株ReMI (静岡市)	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	浜松医科大学		
	[プロジェクト名]	光・電子相関顕微鏡法の活用最適化した画像ソフト開発		
	[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中			
6	企業名	株池戸溶接製作所	委託額	4,956,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	レーザー光変位測定技術を活用した制振壁材の開発		
	[成果と今後] プロジェクト終了、完了手続き中			
合計				29,886,860

・第25期

募集期間：令和6年11月16日(土)～令和7年2月28日(金)

申請件数：6社6件

採択件数：2社2件

事業期間：令和7年7月30日(水)～令和8年2月28日(土)

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	大石測器(株)	委託額	4,996,104
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	丸棒用真円度検査装置のための高精度変位計の開発		
	[成果と今後] プロジェクト実施中			
2	企業名	株アコー (磐田市)	委託額	4,956,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	異種カメラの情報統合による溶着不良自動検査の実現		
	[成果と今後] プロジェクト実施中			
合計				9,952,104

・第26期

募集期間：令和7年3月1日(土)～令和7年5月31日(土)

申請件数：6社6件

採択件数：2社2件

事業期間：令和7年10月16日(木)～令和8年5月31日(日)

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	芝原工業(株)	委託額	4,550,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	板金加工向けタップ加工検査装置の開発		

	[成果と今後] プロジェクト実施中			
2	企業名	株式会社木村村造所	委託額	4,979,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	電磁誘導による金属硬度推定技術の開発		
	[成果と今後] プロジェクト実施中			
合計			9,529,000	

・第27期

募集期間：令和7年6月1日（日）～令和7年8月31日（日）

申請件数：5社5件

採択件数：2社2件

事業期間：令和8年1月26日（月）～令和8年7月31日（金）

【採択企業】

（単位：円）

1	企業名	株式会社クラ・メディ	委託額	4,680,000
	プロジェクトリーダー	聖隷クリストファー大学		
	[プロジェクト名]	嚙下評価用乾式筋電電極及び信号増幅回路の最適化		
	[成果と今後] プロジェクト実施中			
2	企業名	株式会社桜井製作所	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	映像解析による金属造形3Dプリンタ基幹部品の最適化		
	[成果と今後] プロジェクト実施中			
合計			9,672,000	

(6) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否かを審査を行う。

ア 成長産業分野支援資金「プロジェクト分野（フォトンバレー）」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進する。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10億円

対象経費：プロジェクト関連分野事業の実施に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：13件 2,210百万円 ※令和6年度実績：13件 2,101百万円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進する。

補助対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

認定件数：応募なし ※令和6年度実績：応募なし

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
相談・対応件数	990件	876件	1,000件
地域企業の製品開発件数	5件	5件	5件
「光・電子技術活用補助金 ^{※1} 」採択件数	4件	3件	3件
A-SAP ^{※2} 申請件数	30件	26件	30件
A-SAP ^{※2} 採択件数	12件	12件	12件
技術ニーズマッチング社数	20社	29社	16社
商談成立件数	12件	16件	5件

※1：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※2：産学官金連携イノベーション推進事業

2.7 次世代自動車センター事業

決算額 124,800,000円 <静岡県・浜松市負担金>

決算額 533,489円 <財団自主等>

決算額 10,884,000円 <会員会費>

決算額 10,417,849円 <国委託>

【目的】

輸送用機器産業の技術革新に伴うビジネス環境の変化に対応するための総合的な支援を実施する。

これまで推進してきたCASE（コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化）をはじめ、カーボンニュートラル燃料（合成燃料）や燃料電池等を加えたマルチパスウェイでの次世代自動車対応の支援を行うとともに、急速に対応が求められているカーボンニュートラルやデジタルものづくりへの対応、現場改善によるサプライチェーン基盤強化を支援し、更には将来的にビジネス拡大の可能性を秘めている次世代モビリティ（エアモビリティ・ワークモビリティ）関連の知見を高める事業を展開することで、地域中小企業全体の底力の向上を目指す。

【年度総括】

令和7年度は支援事業を、令和6年度までの「次世代自動車対応」「カーボンニュートラル対応」「デジタルものづくり対応」「サプライチェーン基盤強化」に、「次世代モビリティ関連対応」を加えた5つの事業方針に基づき、各種事業を実施し、事業開催回数52回、延べ参加者数8,358人の実績であった。

次世代自動車対応支援では、重点活動の一つとしている車両分解活動において、Kawasaki製電動二輪車・Ze-1を購入し、完成車の状態で実車を確認できる車両展示説明会と走行性を確認できる試乗会を併せて実施した。1月には、電動パワートレインを含む車体全体の分解調査結果及び、昨年度購入したBYD ATT03の車体、熱マネジメントシステムなど、電動パワートレイン以外の調査結果と併せて、調査活動結果報告会を実施した。

カーボンニュートラル対応支援では、9月に技術動向講演会を開催し、ENEOS(株)による基調講演を実施するとともに、浜松脱炭素経営支援デスクと共同で製造時CO2削減活動実践セミナーを実施し、カーボンニュートラル対応の考え方、進め方、具体的な

取り組み事例等を紹介し、中小企業で取り組み可能な手法を提供した。

デジタルものづくり対応支援では、地域中小企業のデジタルものづくりの推進及びデジタル人材育成につながる支援事業として、3Dプリンタによる補給部品の試作制作・試験評価の実用化プロジェクト、サイバーセキュリティ対策ワークショップ、工学系学生のインターンシップ事業、デジタル人材育成事業「市販AIセンサを使った品質検査研修会」を継続して実施した。また、令和6年度事業の報告会として、4月に工学系学生のインターンシップ事業の成果報告会、5月にデジタル人材育成事業「市販AIセンサを使った品質検査」「変化点管理帳票のデータ化」の現地研修報告会を開催した。

サプライチェーン基盤強化支援では、次世代自動車ビジネスに対応できる基盤を整えるため、金融機関との連携のもと、現場改善のための基礎講座として、6月にセミナーを、7月以降はワークショップを希望する8社を対象として、企業に寄り添った現場改善の伴走支援を実施した。

次世代モビリティ関連対応支援では、10月に技術動向講演会を開催し、ワークモビリティの開発を手掛けているヤマハ発動機株式会社、株式会社クボタ、株式会社ソミックトランスフォーメーションによる基調講演を実施し、ワークモビリティの最新技術情報や事業展開に関する情報提供を行った。また、部品ベンチマーク活動においては、エアモビリティを中心に分解調査を進めており、8月にT-MOTOR製の電動パワートレーンの分解調査説明会を実施し、部品ベンチマークルームに展示した。

【実施内容】

地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための5つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行う。

<会員制度>

- ・会員企業：516社 ※令和8年3月末時点
[県西部地域] 248社、[県西部地域外] 268社
[中小企業] 398社、[大手企業] 118社
 - ・入会資格
 - ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
 - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
 - ③当センターの事業に賛同する企業等
- 年会費：中小企業 12,000円、大企業 60,000円（各税込）
※10月～1月入会の場合は半額

<事業展開> ※基本的に会員企業が対象

(1) 次世代自動車対応支援事業

ア 次世代自動車センターフォーラム2025 ※非会員企業も対象

開催日：令和7年4月23日（水）

会場：グランドホテル浜松

講師：経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 戸塚 悠二氏

内容：経済産業省による基調講演「自動車産業の最近の動向と政策対応」、次世代自動車センターの活動報告及び令和7年度の事業計画、トークセッション「試作委託制度を利用した技術開発活動につ

いて」等

参加費：無料

参加者：119社 207名

展 示：試作委託制度を利用して開発を行った会員企業6社の試作部品の成果品を会場内に展示（※「試作部品等製作委託事業」参照）

イ 会員企業アンケート調査（CASE 関連）

<第8回アンケート結果報告会>

開催日：令和7年6月18日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：会員企業に対し令和7年2月に実施した、会員企業のCASEの取り組み状況に関するアンケート調査結果等を報告

参加者：48社 83名

<第9回アンケート調査>

実施日：令和8年2月

内 容：会員企業の次世代自動車（CASE）に対する取り組み状況や次世代自動車センターへの要望事項を把握し、その結果を事業に反映することを目的としたアンケート調査を行った。

対 象：会員企業（回答企業数190社）

ウ 海外イベント視察報告会

・上海モーターショー ※WEB 視察

日 程：令和7年4月27日（日）～5月2日（金）

報告書発行：令和7年6月30日（月）

配付数：200社 255名

・ミュンヘンモーターショー ※現地視察

日 程：令和7年9月9日（火）～14日（土）

参加者：センター長、顧問、技術コーディネーター2名

報告会：令和7年12月10日（水）

参加者：96社 388名

・CES2026 ※現地視察

日 程：令和8年1月6日（火）～9日（金）

参加者：センター長、顧問、技術コーディネーター2名

報告会：令和8年3月13日（金）

参加者：76社 356名

エ 部品ベンチマーク活動及び報告会

・部品分解調査説明会

開催日：①令和7年4月8日（火）

②令和7年10月17日（金）

会 場：①②WEB 開催

内 容：①BYD ATTO3 及び BMW CE04 電動パワートレイン

②TOYOTA bZ3X 電動パワートレイン

参加者：①73社 261名

②82社 319名

・部品ベンチマークルーム見学

見学者：133回 515名 ※令和7年度累計

・調査研究のため会員企業へベンチマーク部品の貸出し

貸出し：7社 24部品 ※令和7年度累計

- ・会員企業による分解調査結果報告会
開催日：令和8年1月29日(木)
会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール
内容：部品ベンチマークルームの分解展示部品に関して、詳細調査・分析を行なった会員企業による調査結果の報告会
参加者：82社160名

オ 車両分解活動

(ア) BYD 製「ATTO 3」の分解調査

近年、成長著しい中国メーカーBYDの最新車両を令和6年度に購入。令和7年度は、車体、熱マネジメントシステムの分解調査を行い、会員企業に情報発信した。

<主な予定>

- ・分解調査：令和7年10月～12月

(イ) Kawasaki 製「Ze-1」の分解調査

国内メーカーより、スポーツタイプの電動二輪車が発売されたため購入。展示説明会兼試乗会を行った後、分解調査を行い、会員企業に情報発信する。

<主な予定>

- ・車両購入：令和7年6月5日(木)
- ・車両展示説明会及び試乗会：令和7年7月14日(月) (35社65名)
- ・分解調査：令和7年9月～11月

(ウ) SUZUKI 製「e-VITARA」の分解調査

スズキ初の量産型 BEV が発売されたため購入。展示説明会兼試乗会を行った後、分解調査を行い、会員企業に情報発信する。

<主な予定>

- ・車両購入：令和7年12月17日(水)
- ・車両展示説明会：令和8年2月16日(月)～17日(火) (25社53名)
- ・試乗会：令和8年2月16日(月)～17日(火) (43社100名)
- ・分解調査：令和8年4月～《予定》

(エ) BYD ATTO3 及びKawasaki Ze-1 車両分解調査活動報告会

開催日：令和8年1月29日(木)
会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール
参加者：82社160名

カ 次世代自動車関連部品の製造現場見学会

次世代自動車に搭載される最新技術を盛り込んだ部品製造を行っている大手部品メーカーの工場を訪問し、部品構成や生産工程等の見学を行う。

開催日：令和7年9月25日(木)
会場：三菱電機(株) 名古屋製作所(愛知県名古屋市)
参加費：無料
参加者：21社21名(定員：25名)

キ 企業訪問活動

- ・先行開発取り組み状況調査
- ・固有技術探索活動状況調査
- ・製造時CO2削減取り組み状況調査
- ・技術マッチング活動 等

ク 試作部品等製作委託

技術力や提案力の向上を図る会員企業に対して、部品試作、工法開発、評価・

解析手法に関するテーマを選定し、公募により試作品などを製作委託するための費用の一部を支援する。

<令和6年度委託完了報告会>

令和7年4月16日(水)：(株)フジコーポレーション(周智郡森町)

令和7年5月21日(水)：(株)山北製作所(静岡市清水区)

<第1回>

応募無し

<第2回>

実施なし

ケ 開発企業向け固有技術探索活動説明会及び基礎講座

(ア) 固有技術探索チャート作成完了企業：54社 ※令和7年度末時点の累計

(イ) 説明会

開催日：令和7年9月3日(水)

会場：WEB開催

内容：自社の固有技術を可視化する「固有技術探索チャート」の作成方法の説明

参加者：11社24名(定員：30名)

(ウ) 基礎講座(全2回)

開催日：第1回/令和7年10月6日(月)

第2回/令和7年11月10日(月)

会場：WEB開催

講師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

内容：固有技術探索チャートを作成することで自社が持つ技術の棚卸しを行い、固有技術の見える化をサポート。また、個別面談を実施し、固有技術の認識活用を促進

参加者：4社16名(定員：10名)

コ 自動車工学関連講座

<新入・若手社員向け講座(全4回)>

開催日：第1回/令和7年4月10日(木)

第2回/令和7年5月22日(木)

第3回/令和7年6月26日(木)

第4回/令和7年7月23日(水)

会場：WEB配信

講師：次世代自動車センター浜松 技術コーディネーター 隅田 敏昭

次世代自動車センター浜松 技術コーディネーター 松浦 洋明

次世代自動車センター浜松 技術コーディネーター 眞崎 禎幸

内容：第1回/自動車部品の製造工場における安全教育

第2回/製造現場での5S

第3回/自動車の構造と製造工程

第4回/製造現場の品質管理

参加者：第1回/58社326名

第2回/47社289名

第3回/68社376名

第4回/45社146名

<中堅技術者向け講座(全6回)>

開催日：第1回/令和7年5月15日(木)

- 第2回／令和7年6月12日（木）
- 第3回／令和7年7月17日（木）
- 第4回／令和7年9月18日（木）
- 第5回／令和7年10月16日（木）
- 第6回／令和7年11月13日（木）

会 場：WEB 配信

講 師：カイゼンベース(株)

- 内 容：第1回／トヨタ生産方式～中級編 自工程完結と継続的な品質改善
 第2回／リーダーが知っておくべき生産現場管理の基本
 第3回／どうやって教える？失敗から学ぶなぜなぜ分析の教育方法
 第4回／納期遵守率を向上させる！実務における工程管理
 第5回／間接部門における改善活動の進め方
 第6回／間接部門における目標設定型業務改善の進め方

- 参加者：第1回／51社435名
 第2回／54社304名
 第3回／71社484名
 第4回／46社126名
 第5回／64社389名
 第6回／52社313名

<モータ及び電気自動車（全4回）>

- 開催日：第1回／令和7年8月29日（金）
 第2回／令和7年11月5日（水）
 第3回／令和7年10月28日（火）
 第4回／令和7年12月11日（木）

会 場：WEB 配信

講 師：電動モビリティシステム専門職大学 准教授 柳原 健也 氏
 スズキ(株) BEV ソリューション本部 BEV 軽・A商品統括部

第2カーラインアシスタントCE 後藤 裕太 氏

次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

- 内 容：第1回／モータの基礎（前編）
 第2回／モータの基礎（後編）
 第3回／電気自動車の基礎
 第4回／電動パワートレインの比較

- 参加者：第1回／57社243名
 第2回／33社139名
 第3回／69社354名
 第4回／63社245名

<振動騒音の測定・分析の技術習得講座（全2回）>

開催日：令和7年8月22日（金）、9月5日（金）

会 場：浜松商工会議所会館101会議室

講 師：豊橋技術科学大学 教授 河村庄造 氏

内 容：電動化に伴い重要なテーマとなる振動騒音について、基礎理論及び
 大学の学部生レベルの実習により構成された講座

参加者：12社19名、10社14名

<振動騒音の基礎>

開催日：令和7年10月27日（月）

会 場：WEB 開催

講師：スズキ㈱ 四輪実験解析部 車両 NVH 性能実験課 大石 修士 氏
内容：振動騒音の現象や主な対策技術を入門レベルとして解説。この知識を身につけ、完成車メーカーや大手部品メーカーとの商談に役立つ講座

参加者：44 社 261 名

<サスペンション・ステアリング・ブレーキの基礎>

開催日：令和 7 年 11 月 27 日(木)

会場：WEB 開催

講師：スズキ㈱ 四輪実験解析部 四輪車両運動設計課 刑部 朋義 氏

内容：サスペンション、ステアリング、ブレーキの基礎知識を習得し、会員中小企業による部品製造の固有技術向上に役立つ講座

参加者：41 社 237 名

<衝突安全の基礎>

開催日：令和 7 年 12 月 18 日(木)

会場：WEB 開催

講師：スズキ㈱ 四輪構造系 CAE/MBA 統括部 衝突課 長坂 圭 氏

内容：衝突安全の基礎知識を習得して、次世代自動車部品の製造技術に関する固有技術の向上に役立つ講座

参加者：29 社 148 名

<熱マネジメント技術の基礎>

開催日：第 1 部/令和 8 年 1 月 28 日(水)

第 2 部/令和 8 年 2 月 25 日(水)

会場：WEB 配信

講師：第 1 部/スズキ㈱ 四輪プラットフォーム設計部

空調システム設計課 中山 雅弘 氏

第 2 部/スズキ㈱ 四輪技術企画部

熱マネジメントシステム先行開発課 係長 三浦 智之 氏

〃

係長 金井田 聡志 氏

内容：電気自動車の航続距離、空調性能、充電時間等の技術開発で重要になる熱マネジメント技術の基礎知識を習得するための講座

第 1 部/熱マネジメント技術のための熱力学の基礎

第 2 部/電気自動車の熱マネジメント技術の基礎

参加者：第 1 部/41 社 223 名

第 2 部/39 社 217 名

<自動運転の基礎>

開催日：令和 8 年 3 月 25 日(水)

会場：WEB 開催

講師：バンコク大学 (タイ)

Advisory Professor クライソン・トロンナムチャイ 氏

内容：CASE の要素である自動運転の基礎知識を習得するための講座

参加者：25 社 124 名

サ 先行開発企業報告会 ※次世代自動車センターフォーラム 2025 と同時開催

開催日：令和 7 年 4 月 23 日 (水)

会場：グランドホテル浜松

内容：次世代自動車部品の先行開発企業による事例発表と部品展示を実施
シ 技術マッチング活動

大手メーカー等から試作部品製作依頼先の相談があった際、会員企業を推薦し、ニーズに合ったマッチングを図る。

- (ア) 依頼内容：少量量産用新規部品の手配先の紹介
対象部品：マルチワークモビリティ（無人作業車）用コントロール基板
紹介企業：2社
進捗状況：開発一時停止（夏頃から再始動予定）
- (イ) 依頼内容：増産部品の手配先の紹介
対象部品：HEV 電池用ケース（アルミ深絞り成形品）
紹介企業：16社（1次候補リストアップ11社、追加5社）
進捗状況：経営判断により辞退
- (ウ) 依頼内容：新規量産部品受注のための協業先の紹介
対象部品：EV用パワーモジュール冷却ケース
紹介企業：4社
進捗状況：3社商談進行中
- (エ) 依頼内容：BEVのサービスマニュアル入手手配先の紹介
紹介企業：1社
進捗状況：紹介済
- (オ) 依頼内容：生産能力不足に対する新たな手配先紹介依頼
対象部品：電子部品製造用治具部品
紹介企業：1社
進捗状況：成約見通しで詳細整合中
- (カ) 依頼内容：新規部品の手配先紹介依頼
対象部品：モビリティに使用されるシフトフォーク
紹介企業：3社
進捗状況：紹介した3社と直接商談開始
- (キ) 依頼内容：SCM440に対するガス窒化処理を外注できる企業
紹介企業：3社
進捗状況：紹介した3社と直接商談開始
- (ク) 依頼内容：PBT精密樹脂インサート成形
対象部品：EV充電用プラグ
紹介企業：3社
進捗状況：紹介した2社と直接商談開始

(2) カーボンニュートラル対応支援事業

- ア 技術動向講演会（カーボンニュートラル対応） ※非会員企業も対象
開催日：令和7年9月2日（火）
会場：ホテルクラウンパレス浜松
対象：会員企業及び浜松商工会議所法人会員企業
内容：中小企業に必要な省エネやカーボンニュートラル対応の考え方をはじめ、先進企業の取り組み事例を紹介
講師：浜松市 産業部参事兼カーボンニュートラル推進課長 原田憲治 氏
ENEOS(株) 潤滑油カンパニー 潤滑油研究開発部長 金原栄治 氏
次世代自動車センター浜松 センター長 望月英二
(公財)浜松地域イノベーション推進機構
はままつ脱炭素経営支援デスク 鈴木正法
参加費：無料

参加者：76社137名

イ 先行開発企業報告会 ※技術動向講演会（カーボンニュートラル対応）として開催

開催日：令和7年9月2日（火）

会場：ホテルクラウンパレス浜松

内容：中小企業に必要な省エネやカーボンニュートラル対応の考え方をはじめ、先進企業の取り組み事例を紹介

ウ 製造時CO2削減計画策定講座

※技術動向講演会（カーボンニュートラル対応）として開催

開催日：令和7年9月2日（火）

会場：ホテルクラウンパレス浜松内 内容：ものづくり中小企業における製造時CO2排出削減に向けた計画策定方法を解説する講座及び先行的にカーボンニュートラル対応を行っている中小企業の事例を紹介

(3) デジタルものづくり対応支援事業

ア 情報セキュリティ対策基礎講座

※サイバーセキュリティ対策ワークショップに含めて開催予定

開催日：令和7年10月14日（火）、令和8年3月9日（月）

会場：グランドホテル浜松

内容：サイバーセキュリティ対策が必要となる中小製造業者に、考え方や取り組み手順等、基礎的な情報を提供

イ サイバーセキュリティ対策ワークショップ

開催日：令和7年10月14日（火）、令和8年3月9日（月）

会場：グランドホテル浜松

内容：現場で起こりうるケーススタディを用いて、サイバーセキュリティ対策の方法等を考えるグループワークを実施

講師：次世代自動車センター

技術コーディネーター 仲元新吾

参加費：無料

参加者：15社30名

11社22名

ウ 3Dプリンタ実用化プロジェクト

中小企業の製作工数や金型の保管削減等のため、3Dプリンタを活用した樹脂補給部品の試作・評価活動を行う。

<個別プロジェクト活動>

3Dプリンタに関する情報を収集し、個別活動メンバーで共有する。

・個別チーム活動状況報告会

開催日：令和8年5月《予定》

エ デジタル人材育成事業

完成車メーカーがスマートファクトリーに盛り込んでいるデジタル化アイテムの中から中小企業の固有技術のデジタル化に対応できるアイテムを抽出し、中小企業のデジタル人材の研修を実施するとともに、実機によるデジタルものづくりの適用について各企業の現場において実際のワークを活用したトライアル・検証を行う。

<令和6年度トライアル事業報告会>

開催日：令和7年5月26日（月）

会場：グランドホテル浜松

協 力：スズキ(株) 生産本部ものづくり推進部

内 容：①市販AI センサを使った品質検査

②変化点管理帳票のデータ化

参加企業：①平岡ボデー(株) (浜松市中央区)、(株)アイゼン (浜松市中央区)、
(株)三恵 (磐田市)

②(株)ベルソニカ (湖西市)、(株)三幸製作所 (浜松市中央区)、
浜名部品工業(株) (湖西市)

<研修会>

開催日：令和7年12月1日(月)

現場トライアル期間：令和8年1月～2月

会 場：参加企業内

内 容：市販AI センサを使った品質検査

協 力：スズキ(株) 生産本部ものづくり推進部

参加企業：3社 (宝和工業(株)、第一工業(株)、(株)汐見製作所)

<実地研修報告会>

開催日：令和8年3月6日(金)

会 場：浜松商工会議所会館会議室

協 力：スズキ(株) 生産本部ものづくり推進部

内 容：市販AI センサを使った品質検査

参加企業：3社 (宝和工業(株)、第一工業(株)、(株)汐見製作所)

オ 工学系学生のインターンシップ事業

中小企業がデジタルものづくりに対応するため、特に不足しているデジタル人材の確保に向け、静岡大学の学生を対象に地域中小企業でのインターンシップを実施する。(協力：静岡大学工学部)

<令和6年度成果報告会>

地域中小企業4社でインターンシップを実施

開催日：令和7年4月15日(火)

会 場：静岡大学 浜松キャンパス

参 加：学生2名、大学2名、企業2社4名

<令和7年度>

受入企業募集：令和7年8月29日(金) (〆切り)

応募企業数：4社

インターンシップ学生募集：令和7年12月10日(水)

インターンシップ実施時期：令和8年3月2日(月)～3月13日(金)

参加者数：学生2名

インターンシップ成果報告会：令和8年5月《予定》

(4) サプライチェーン基盤強化支援事業

ア 現場改善のための基礎講座

現場改善に必要な基礎知識となる「5S・生産管理・在庫管理・品質管理」をテーマに講座を開催するとともに、希望企業に対して技術CDが訪問し、「現場の困りごと」の解決のための個別ワークショップを開催する。

セミナー開催日：令和7年6月19日(木)

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

参加者：23社31名

ワークショップ企業：8社(期間：令和7年7月～)

イ 現場改善のための企業訪問

現場改善の課題がある会員企業を対象に、技術コーディネーターが企業訪問し、現場確認を行いながら相談に応じる。

継続支援・フォローアップ訪問：3社 ※令和7年度累計

ウ ものづくり中小企業向け固有技術探索活動説明会・基礎講座

ものづくり中小企業が、自社の「固有技術等」を可視化するため、固有技術探索チャートの作成方法を学ぶ講座等を開催する。

<説明会>

開催日：①令和7年5月12日(月)、②11月27日(木)

会場：WEB開催

参加者：①8社14名、②3社4名

<基礎講座(全2回)>

開催日：①令和7年5月29日(木)、7月9日(水)

②応募無し

会場：WEB開催

講師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月英二

参加費：無料

参加者：①3社8名

(5) 次世代モビリティ関連対応支援事業

ア 技術動向講演会(次世代モビリティ関連) ※非会員企業も対象

開催日：令和7年10月7日(火)

会場：グランドホテル浜松

内容：次世代自動車対応にも共通する「軽量化」や「電動化」をテーマに、次世代モビリティに関して先進的に開発に取り組んでいる大手企業による次世代モビリティの技術動向に関する講演等

※講演会後に交流会を実施

講師：ヤマハ発動機(株)(磐田市)

(株)クボタ(大阪府堺市)

(株)ソミックトランスフォーメーション(浜松市中央区)

参加費：無料

参加者：84社154名

<交流会>

技術交流会として講師と会員企業による情報交換の場を提供。

参加者(会員企業)：33社60名 ※交流会会費：@5千円

イ 部品ベンチマーク活動及び報告会

<部品分解調査説明会>

開催日：令和7年8月26日(火)

会場：WEB開催

内容：T-MOTOR U15L 電動パワートレイン

参加者：69社184名

ウ 試作部品等製作委託

技術力や提案力の向上を図る会員企業に対して、部品試作、工法開発、評価・解析手法に関するテーマを選定し、公募により試作品などを製作委託するための費用の一部を支援する。

<第1回>

公募期間：令和7年5月26日（月）～30日（金）

委託費：上限300万円、補助率2/3

テーマ：①冷間鍛造製法による小型モビリティ用ヘリカルスプライン製造
法案の開発

②コンパクトな電動水冷システムの開発

審査会：令和7年7月2日（水）

採 択：2社（申請2社）

完 了：令和8年2月20日（金）

委託完了報告会：①小松工業㈱：令和8年3月17日（火）

②㈱イハラ製作所：令和8年3月16日（月）

<第2回>

実施なし

エ エアモビリティ関連講座

<軽量化設計基礎講座>

開催日：令和8年1月23日（金）

会 場：WEB開催

講 師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月英二 氏

内 容：エアモビリティ開発にかかる技術情報の中で、次世代自動車開発にも
共通する技術テーマである軽量化設計や認証技術について、知見を
高める講座を開催する。

参加者：39社138名

(6) その他（関連支援機関との連携等）

ア CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（国：地域支援
拠点運営事業）

経済産業省の委託事業の地域支援拠点として、電動化に伴って事業転換を迫
られるサプライヤー向けの相談窓口となり、中小企業等が取り組む電動車部
品製造への挑戦や次世代技術への対応ができるような提案力の向上につなげ
るための事業を実施する。

契約期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）

委託金額：11,698,023円

確 定 額：10,417,849円

イ ミカタプロジェクト連絡会議等

<全国連絡会議>

開催日：（第1回）令和7年6月2日（月）

（第2回）令和7年10月17日（金）

（第3回）令和8年3月23日（月）

<個別連絡会議>

開催日：令和7年7月31日（木）

<米国関税情報共有会>

開催日：令和7年12月8日（月）

<ミカタプロジェクトモビリティ・イノベーション・フォーラム>

開催日：令和8年2月19日（木）

ウ 経済産業省意見交換会

開催日：令和7年7月15日（火）

エ 静岡県次世代産業関連プロジェクト連絡会議

開催日：令和7年4月18日(金)

オ 静岡県エネルギー戦略推進会議

開催日：(第1回) 令和7年7月3日(木)
(第2回) 令和7年10月21日(火)
(第3回) 令和8年2月2日(月)

カ 静岡県信用保証協会連携会議

開催日：(第1回) 令和7年6月30日(月)
(第2回) 令和8年2月3日(火)

キ 他支援機関等との連携

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センター浜松の概要・事業説明を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を図る。

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
会員入会企業数	528社	516社	—
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	244回	255回	240回
<内訳>			
・固有技術探索チャート現場指導	2回	7回	5回
・先行企業訪問調査	0回	0回	5回
・技術ニーズマッチング	6回	1回	5回
・試作部品製作委託現場指導	13回	18回	10回
・部品ベンチマークルーム等見学	124回	133回	180回
・サプライチェーン基盤強化現場指導	52回	59回	35回
・その他	47回	37回	—
秘密保持契約締結件数	25件	39件	20件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	3社	7社	5社
試作品製作委託契約件数	3件	2件	5件

7【拓く】販路開拓支援

28 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 162,650 円 <浜松市受託>

【目的】

浜松市内で製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

【年度総括】

「浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金」及び「浜松市トライアル発注認定事業」の申請受付等の事務手続き及び伴走支援を行った。浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金では、地域企業への制度周知・PRや交付決定企業には出展後の状況把握や相談対応のため訪問するなど販路開拓に向けた総合的な支援を実施した。

また、浜松市トライアル発注認定事業では、浜松市が認定製品の調達、テスト導入を図るために各部署へPRを実施し、産業振興課所管の補助事業において、今年度認定サービスのトライアルを実施し、次年度での導入検討を行った。

【実施内容】

(1) ものづくり販路開拓事業費補助金（市予算：20,000千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業等に対し、浜松市が出展に要する経費の一部を補助するための準備業務を行う。

公募期間：[1次] 令和7年4月10日（木）～5月30日（金）

[2次] 令和7年8月8日（金）～随時募集

対象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者等。又は、上記に該当するものを1者以上含み、研究開発を目的に2者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2以内

補助額：上限200千円（国内）、500千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費、動画作成費など

事業期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）

ア 国内 [1次]

申請件数：41件

採択件数：39件

交付決定額：7,392,000円（39件）

交付確定額：7,216,000円（39件）

<交付確定企業一覧>

（単位：円）

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)シャオール	保育博ウエスト2025	200,000
2	(有)アイディール	インターペット2024	200,000
3	(株)ドットレッドオーデオデザインズ	東京楽器博2025	200,000
4	(株)アールテック	第48回日本バイオレオロジ	63,000

		一学会年会	
5	ニッコウプロセス(株)	第10回ものづくりワールド 名古屋	200,000
6	(株)ジーアクト	OPIE'25	170,000
7	(株)ジーアクト	ネプコンジャパン	200,000
8	(株)真誠	日本木工機械展 2025	200,000
9	(同)クライン	第14回インターペット	200,000
10	(株)テクニカルサポート	人とくるまのテクノロジー展 2025	200,000
11	橋本エンジニアリング(株)	H.C.R.2025 第52回国際福 祉機器展	200,000
12	(株)東洋鉄工所	日本木工機械展 2025	200,000
13	(株)マウビック	電子機器トータルソリューション展 2025	200,000
14	(株)浜松パルス	AGTS 農業展	166,000
15	(株)JAMPACK	FIELDSTYLE EXPO 2025	200,000
16	SHODA(株)	日本木工機械展 2025	200,000
17	glafit(株)	Japan Mobility Show 2025	200,000
18	(有)雪山シボリ	ビジネスマッチ東北	84,000
19	(株)SLDS	SPORTEC2025	200,000
20	(株)エンブレム	メッセナゴヤ 2025	138,000
21	YASAKA(株)	日本木工機械展 2025	200,000
22	(株)エコム	第16回高機能素材 Week	200,000
23	(株)オグショー	東京オートサロン 2026	200,000
24	(株)フィグメント	スポーツヘルスケア One デイ 2025	139,000
25	(株)蔦木	第30回機械要素技術展	200,000
26	(株)カタナコーポレーション	人と車のテクノロジー展 2025 YOKOHAMA	200,000
27	(株)カタナコーポレーション	EdgeTech+2025	200,000
28	(株)SPLYZA	Japan Health	164,000
29	(株)SPLYZA	DOCSF-JAPAN Experience 2025	200,000
30	(株)ジャパン・ミヤキ	高精度・難加工技術展 2025	200,000
31	(株)はままつメディカルソリューションズ	一般社団法人日本脳神経外科学会第84回学術総会	200,000
32	ジーリンクス(株)	第72回日本実験動物学会総会	117,000
33	(株)インテグラ技術研究所	メカトロテックジャパン 2025	200,000
34	(株)パルステック工業	人と車のテクノロジー展 2025 YOKOHAMA	200,000
35	(株)小林ダイヤ	メカトロテックジャパン	200,000

		2025	
36	古橋織布(有)	ててて商談会 2025.9	175,000
37	フジ精工(株)	モノづくりフェア 2025	200,000
38	(株)ジャパンエコテック	FOOMA JAPAN 2025	200,000
39	パソコン(株)	電子機器 2025 トータルソリューション展	200,000
合 計			7,216,000

イ 国内 [2次]

申請件数 : 33 件

採択件数 : 33 件

交付決定額 : 6,118,000 円 (33 件)

交付確定額 : 5,888,000 円 (33 件)

< 交付確定企業一覧 >

(単位 : 円)

2次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	シンクビジョン(株)	INTERMOLD2025	200,000
2	浜松ナノテクノロジー(株)	nano tech 2026	200,000
3	ゼロイチゼロ(株)	FOOMA JAPAN 2025	146,000
4	橋本エンジニアリング(株)	キッズフェスタノース	200,000
5	東亜エレクトロニクス(株)	第 20 回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア 2025	78,000
6	(株)丸文製作所	第 15 回農業 WEEK J-AGRI TOKYO	200,000
7	(株)キカラボ	ものづくりパートナーフォーラム TECH LIVE 東京	200,000
8	酒ハックプロジェクト株式会社	Whisky Festival 2025 in OSAKA	77,000
9	(株)スギヤマ	メカトロテックジャパン 2025	200,000
10	(株)スズイチ	第 32 回建築・建材展 2026	200,000
11	ソフトプラン工業(株)	第 31 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	115,000
12	(株)ゼロワン	SusHi Tech Tokyo 2025	167,000
13	(株)ゼロワン	ものづくり DX EXPO 2025	189,000
14	高橋刃物工業(株)	日本木工機械展 2025	200,000
15	(株)グリーンメイカーズ	エンディング産業展 2025	196,000
16	(株)AT システム	ジャパンインターナショナルポートショー2026	134,000
17	(株)Magic Shields	ナース祭り 2025	180,000
18	(株)Magic Shields	第 61 回日本赤十字社医学会総会	142,000
19	浜口ウレタン(株)	危機管理産業展 2025	200,000
20	(有)竹山鉄工所	テクニカルショウヨコハマ 2026	200,000

21	(株)サイト	建設技術フェア 2025 in 中部	200,000
22	(株)美浜工業	テクニカルショウヨコハマ 2026	183,000
23	(株)マラナタ	J-AGRI TOKYO_GARDEX_TOOL JAPAN 2025	200,000
24	オーム電機(株)	2025 国際ロボット展	200,000
25	HUIS	大日本市	184,000
26	ショーダテクトロン(株)	エレクトロニクス開発・実装展 (ネプコンジャパン)	200,000
27	SSI(株)	第10回ロボデックス (ネプコン ジャパン)	200,000
28	Et YS	TRANOI TOKYO	153,000
29	シナジーオプトシステムズ(株)	InterOpto2025 光とレーザー の科学技術フェア	200,000
30	(株)アルモニコス	第3回ものづくりワールド福岡	200,000
31	(株)ハマネツ	第7回国際建設・測量展 CSPI-EXPO2025	200,000
32	山真製鋸(株)	第11回猛暑対策展	200,000
33	(株)栄商会	防災・災害対策 EXPO	144,000
合計			5,888,000

ウ 海外 [1次]

申請件数 : 10 件

採択件数 : 9 件

交付決定額 : 4,333,000 円 (10 件)

交付確定額 : 4,333,000 円 (10 件)

< 交付確定企業一覧 >

(単位 : 円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)ドットレッドオーデ ィオデザインズ	SUPERBOOTH25	333,000
2	ショーダテクトロン(株)	productronica2025	500,000
3	(株)SLDS	中国国際床材及び舗装技術展示 会	500,000
4	(株)カタナコーポレーシ ョン	ADAS & Autonomous Vehicle Technology Expo Europe 2025	500,000
5	(株)カタナコーポレーシ ョン	embedded world Exhibition & Conference 2026	500,000
6	ハマニ化成(株)	バンコクオートサロン 2025	500,000
7	UO	Milano Design Week 2025 SaloneSatellite	500,000
8	パルステック工業(株)	International Confernce on Residual Stresses	500,000
9	(株)Happy Quality	Plant Biology 2025	500,000
合計			4,333,000

エ 海外 [2次]

申請件数 : 1件
 採択件数 : 1件
 交付決定額 : 500,000円 (1件)
 交付確定額 : 500,000円 (1件)

<交付確定企業一覧>

(単位:円)

2次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	赤堀産業(株)	Intertextile Shanghai Apparel Fabrics-Spring Edition	500,000
合計			500,000

オ オンライン [1次]

申請件数 : 2件
 採択件数 : 2件
 交付決定額 : 292,000円 (2件)
 交付確定額 : 292,000円 (2件)

<交付確定企業一覧>

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	(株)テクニカルサポート	人と車のテクノロジー展 2025 ONLINE STAGE1	100,000
2	(株)カタナコーポレーション	人と車のテクノロジー展 2025 ONLINE STAGE1	192,000
合計			292,000

カ オンライン [2次]

申請件数 : 1件
 採択件数 : 1件
 交付決定額 : 100,000円 (1件)
 交付確定額 : 100,000円 (1件)

<交付確定企業一覧>

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	パルステック工業(株)	人と車のテクノロジー展 2025 ONLINE STAGE1	100,000
合計			100,000

(2) トライアル発注販路拡大事業

浜松市が市内中小企業を対象に実施するトライアル発注への参加事業者の認定業務に関する事務(公募広報、申請受付、審査会運営、採択事業案の作成など)を実施するとともに、市の各部署への斡旋等、認定された新製品や新サービスの普及、販路拡大を促進した。

公募期間: 令和7年4月10日(木)~5月30日(金)

対象: 市内中小企業及びスタートアップなど

内容: 新規性や独自性など浜松市が定める基準を満たす新製品等を生産・提供する事業者を「認定事業者」として認定し、新製品等を浜松市が優先して導入・購入する。

申請企業：5社5製品・サービス
 認定企業：5社5製品・サービス
 浜松市導入：1製品・サービス（令和6年度認定製品・サービス）
 (株)CANARY 手話通訳予約システム

【令和7年度トライアル発注認定品一覧】

	企業名	製品名	製品概要
1	(株)ティーアールシー高田	インバーター搭載ハイブリッド型発電機「GeNico(ジェニコ)」	2種類の燃料(LPガス、ガソリン)が使用できるハイブリッド発電機
2	(株)防災AI	老朽インフラ診断ロボット・AI	自律走行探査ロボットによる老朽インフラの非破壊診断システム
3	codeless technology(株)	自治体帳票「そのままDX」	使い慣れた帳票を送るだけで入力フォームを自動生成し、既存の業務フローを変えずに導入できるシステム
4	YK・コラボ(株)	アジリティトレーニング機「スポトレク」	モニターに表示された色に対応したボタンを押すトレーニング機器
5	つるた(株)	木製サッシ「つるま〜ど」	アルミサッシと比較して高い断熱性を持ち、CO2排出量が少ない木製サッシ

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和6年度	令和7年度	令和7年度
国内	出展企業数	62社	71社	50社
	商談成立件数	47件	133件	50件
海外	出展企業数	14社	10社	20社
	商談成立件数	3件	5件	20件

29 マッチング支援事業

決算額 81,600円 <財団自主>
 決算額 497,180円 <県補助・8市町負担金>

【目的】

浜松地域の中小企業に対して、短中期的期間での新事業の獲得に向けた大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

【年度総括】

大企業等の技術ニーズに対し地域中小企業とのマッチングを支援する本事業では、15件のマッチングを実施した。引き続きマッチングの進捗状況を確認しながら、継続的なフォローアップを行っていく。

また、10月に(一財)アグリオープンイノベーション機構と連携し同機構会員交流会

で企業間マッチングの説明を行った。その結果、興味を持った会員企業に対し同機構と同行訪問を行い、企業間マッチングの詳細検討を行った。

なお、ダイキン工業㈱と予定していたニーズ説明会は、同社の都合により次年度以降へ延期することとなった。

【実施内容】

(1) 大手企業等とのマッチング支援

地域企業間の販路開拓や協業に関するマッチング
マッチング件数：33件

(2) 地域のマッチング技術商談会へ出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどをPRする場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチングを促進する。

ア 第14回 産業振興フェア in いわた

開催日：令和7年11月7日（金）～8日（土）

会場：磐田市アミューズ豊田

主催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。財団は次世代自動車センターを中心としたブースを設け、来場者にPRを行った。

(3) 販路開拓コーディネーター支援

優れた新製品・新技術を持ちながら、具体的な市場が顕在化していない、販路開拓の足掛かりが欲しい等、自社単独では販路開拓が困難な地域中小企業を対象に、経営支援NPOクラブ（東京都千代田区）と連携を図り、大手企業等とのマッチングまでを伴走型で支援した。今年度を2社の支援を実施し、合計4社との面談を実施した。

販路開拓コーディネーター支援プログラム

公募期間：令和7年5月19日（月）～6月20日（金）

支援期間：令和7年8月～令和8年3月

会場：エントリー企業、マッチング先企業

内容：・支援企業の製品、技術の特徴や強みを分析
・セールスポイントを含めたプレゼン資料のブラッシュアップ
・各社大手企業2社とマッチング及びフォローアップ

負担金：1社30,000円

参加企業：2社

㈱クロスデバイス、㈱新川製作所（磐田市）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
マッチング件数	50件	33件	35件
マッチング商談成立件数	5件	1件	5件

【利用者の声】

「自社単独ではPRできないような業界や企業へアプローチでき、顧客候補がどのよう

な技術や商品を探しているのかを実際に聞くことができた。結果として販路開拓の足掛かりを作ることができた。」〈ソフトウェア業〉

30 デジタル化推進事業

決算額 1,049,360 円 <浜松市受託>

【目的】

中小企業のデジタル技術等を活用した戦略的な情報発信の支援や企業プレゼンスを高めることで、販路の拡大及び人材採用を推進し、経営基盤の強化につなげる。

【年度総括】

中小企業におけるウェブサイトを活用した新たな販路開拓を支援するため、基礎知識の習得から実践方法を体系的に学ぶ機会としてセミナー及びワークショップを開催した。今年度は情報発信の基盤構築を図ることを主とし、生成 AI などのツールを実際に活用して、スライド動画などすぐに使用できる成果物を作成した。うち1社においては、ワークショップ終了後、講師を専門家として派遣し、より具体的なツール活用の助言を行った。

企業プレゼンス向上の意識醸成を図るセミナーについては、PR の視点で自社の強みを顧客の価値に翻訳するノウハウを習得する実践的な内容とした。

今後、参加企業の実践状況を把握し、継続的な支援につなげることで、地域企業の販路拡大、人材採用など、経営基盤の強化を図っていく。

【実施内容】

(1) ウェブサイトを活用したデジタルマーケティングの推進

ア WEB マーケティング塾

開催日：令和7年10月16日（木）

会場：アクトシティ浜松 5階 コンgressセンター「53+54 会議室」

講師：(株)静岡マーケティング（静岡市駿河区）代表取締役 光 俊輔 氏

内容：自社の強みを言語化し、選ばれる会社にするための実践的セミナー

参加料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：20 社 25 名（定員：50 名）

イ WEB マーケティング塾 実践ワークショップ全3回

開催日：令和7年11月6日（木）、18日（火）、12月9日（火）

会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：(株)静岡マーケティング（静岡市駿河区）代表取締役 光 俊輔 氏

内容：①会社の顔づくりと情報発信編

②はじめての動画 PR 編

③WEB 集客の第1歩・実践プランニング編

参加料：[市内] 5,000 円、[市外] 10,000 円

参加者：8 社 10 名（定員：15 名）

(2) 企業プレゼンス向上の意識醸成を図るセミナー

開催日：令和8年3月13日（金）

会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：株式会社ネットワークコミュニケーションズ（東京都）

代表取締役 岡田 直子 氏

内 容：①スペック競争から抜け出す発想講義
 ②“自社らしさ”の掘り起こし
 ③選ばれる理由の言語化ワーク
 参加料：[市内] 5,000 円、[市外] 10,000 円
 参加者：8 社 9 名（定員：15 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
戦略的ウェブサイトの構築	4 社	0 社	4 社
PR 活動支援	—	1 社	5 社

3 1 海外ビジネス展開支援事業

決算額 280,300 円 <浜松市受託>

【目的】

海外へのビジネス展開を目指す意欲的な地域企業に対して、事業拡大とグローバル化を後押しし中小企業の海外輸出を促進する。

【年度総括】

中小企業の事業拡大と地域産業のグローバル化を図るために、海外展示会への出展や海外 FS など、効果的な海外展開手法について学ぶ機会としてセミナーを開催した。

今後、参加企業へのフォローアップだけでなく、企業訪問を通じて海外展開支援へのニーズを把握し、浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金や海外 FS 補助金の活用提案、JETRO 等の関係機関と連携し、地域企業の事業拡大、販路開拓等を推進していく。

【実施内容】

(1) 海外マーケティングセミナー

開催日：令和8年2月26日（木）

会 場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師：①株式会社パコロア（大阪府）代表取締役 小川 陽子 氏

②パイフotonクス株式会社 代表取締役 池田 貴裕 氏

内 容：①海外展示会・海外 FS で成果を出すための事前準備と進め方

②新しい光の使い方の追求とグローバルへの挑戦

受講料：無料

参加者：10 社 11 名（定員：20 名）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和6年度	令和7年度	令和7年度
海外ビジネス展開支援企業数	1 社	0 社	3 社



公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation